

2023 年度 学生調査報告

九州ルーテル学院大学

はじめに

九州ルーテル学院大学（以下、本学）では 2016 年度より毎年、IR 委員会による学生の動向に関するアンケート調査を実施しております。2020 年度においては、教育や学生支援の質の向上や大学運営の改善のためにさらにアンケート項目を改変しております。また 2021 年度より、学生のアンケート回答にかかる負担を軽減し回答率を向上させる試みとしてアンケートを「学修調査」と「学生生活調査」の2回に分割し時期を分けて実施しました。本調査アンケートは WEB 上で実施されました。

地域に役立つ研究・実践と質の高い教育の保障を目指して向上を志す本学は、地域の皆さまや学生保護者の皆さまに説明責任を果たし、皆さまからご意見をいただくために、ここにアンケート調査結果を公表いたします。この報告書についてご意見・ご質問がございましたら、こちらまで（<https://www.klc.ac.jp/contact/>）お知らせください。

調査概要

《調査対象者》

2023 年度在学生 687 名（内訳：心理臨床学科 278 名，人文学科こども専攻児童教育コースおよび児童教育専攻（以下、児童教育）128 名，人文学科こども専攻保育コースおよび保育・幼児教育専攻（以下、保育・幼児教育）109 名，人文学科キャリア・イングリッシュ専攻（以下、キャリア・イングリッシュ専攻）157 名，その他（長期履修学生，大学院生，学部研究生）15 名）。

《調査時期》

- 学修調査：2023 年 9 月下旬から 2023 年 12 月下旬
- 生活調査：2023 年 12 月上旬から 2024 年 3 月中旬

《調査方法》

調査対象者に web アンケートを実施しました。学修調査は1年生，2年生と3年生，4年生でアンケートを分け、1年生にのみ入学以前に関する調査項目が，4年生にのみ資格に関する調査項目が追加された調査票を用いました。生活調査は1～3年生と4年生でアンケートを分け、4年生は卒業生満足度調査として実施しました。卒業生満足度調査にのみ本学の教育効果の実感に関する調査項目が追加されています。

アドバイザーや特別研究の授業（ゼミ）担当者が学生に web アンケートに回答するよう依頼しました。また、卒業生満足度調査は卒業研究の提出時にも教務課から回答の依頼をしました。

《回収率》

回答項目によって若干異なりますが、回収率は学年ごとに以下のようになっています。（その他は大学院生，長期履修学生，および過年度生を差します。）

（生活調査）

1年：73 名/160 名（45.6%）

2年：84 名/183 名（39.9%）

3年：59 名/163 名（44.8%）

4年：158 名/158 名（46.2%）

その他：4 名/23 名（17.4%）

全学年：452 名/687 名（54.0%）

（学修調査）

1年：125名/160名（78.1%）

2年：115名/183名（68.3%）

3年：106名/163名（76.7%）

4年：103名/158名（79.1%）

その他：3名/23名（13.0%）

全学年：452名/687名（65.8%）

《分析方法》

回答データの基本集計として、在学生全体、学年ごと、学科・専攻・コースごとに人数、人数比率、平均値を算出しました。分析の便宜上、学生の所属ごと、学年ごとに分けて行われた分析においては科目等履修生、過年度生、大学院生、長期履修生のデータは除いて収集分析しています。

《調査項目の見直し》

2023年度より、一部の調査項目の見直しが図られました。

2022年度に生活調査の項目「大学教育の効用」に関する質問項目と学修調査の項目「知識能力の向上」が統合され、生活調査の「大学教育の効用」のみとなりましたが2023年度においては学修調査の「知識能力の向上」のみへと変更されました。

入学理由に関するアンケートに関して、本調査アンケートより削除されました。

また、2022年度まで全学年に対して調査されていた免許・資格に関するアンケートが4年生の学修調査のみの質問へ変更され、調査内容も削減されました。

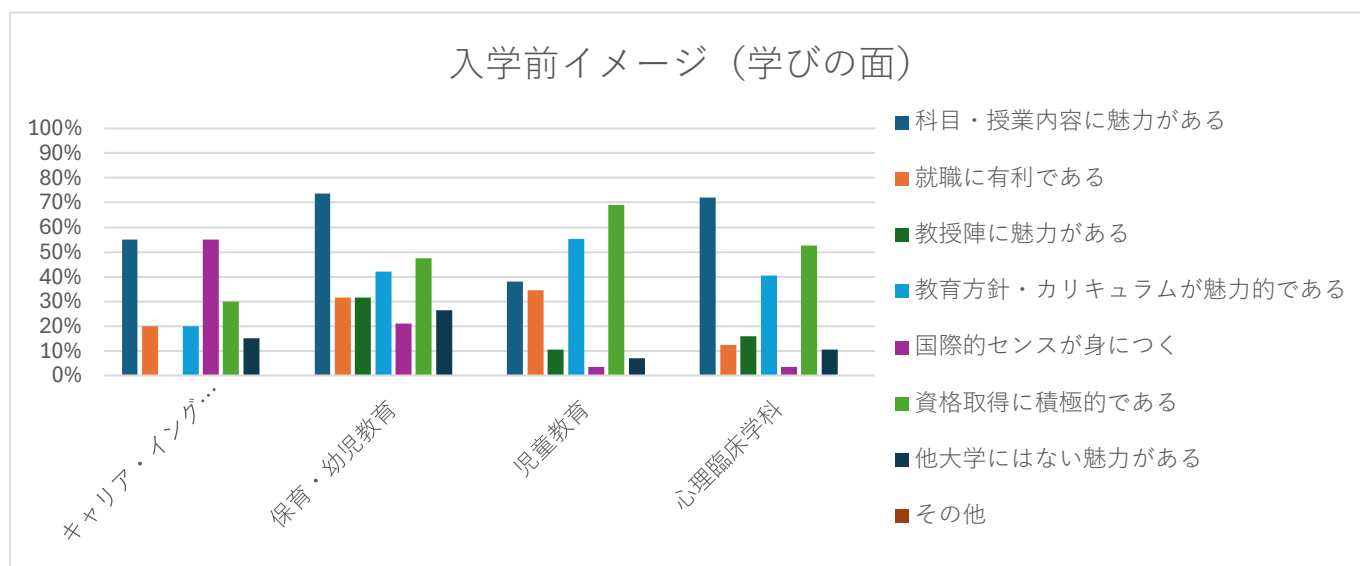
本学に対する入学前イメージ

1年生を対象に、入学前に本学に対してどのようなイメージをもっていたかについて「学びの面」と「その他の面」に分けて、該当項目を選択する形（複数選択可）で回答を収集しました。

学びの面

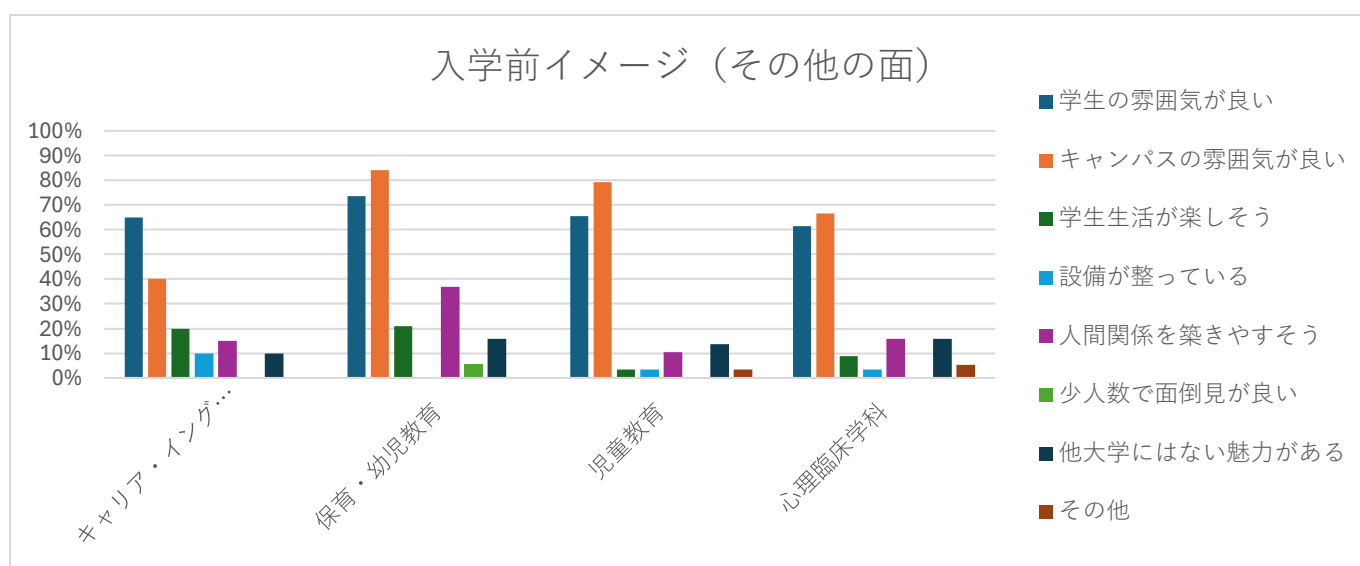
2022年度と同様、全体的に「科目・授業内容に魅力がある」「教育方針・カリキュラムが魅力的である」「資格取得に積極的である」というイメージを持たれているようです。キャリア・イングリッシュ専攻においては「国際的センスが身につく」が他の学科に比べて大きい比率で回答されています。

また2022年度に低くなっていたキャリア・イングリッシュ専攻の「就職に有利である」の割合が2023年度では回復しています。



その他の面

その他の面に関しては、2022年度までと回答の選択肢が変更されているため2022年度以前との単純な比較はできません。全学科・専攻で「学生の雰囲気が良い」と「キャンパスの雰囲気が良い」という印象が強いようです。

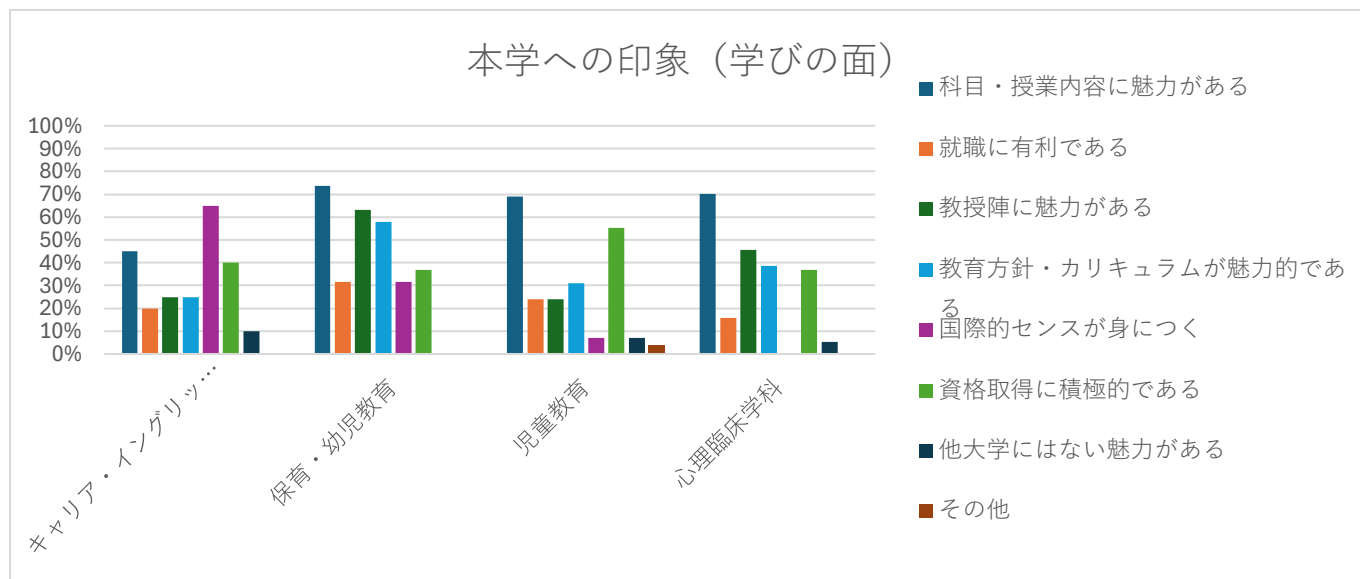


本学に対するイメージ(入学後)

本学に入学して、現在持っている印象を全学年に対して、「学びの面」「その他の面」に分けて、該当項目を選択する形(複数選択可)で回答を収集しました。

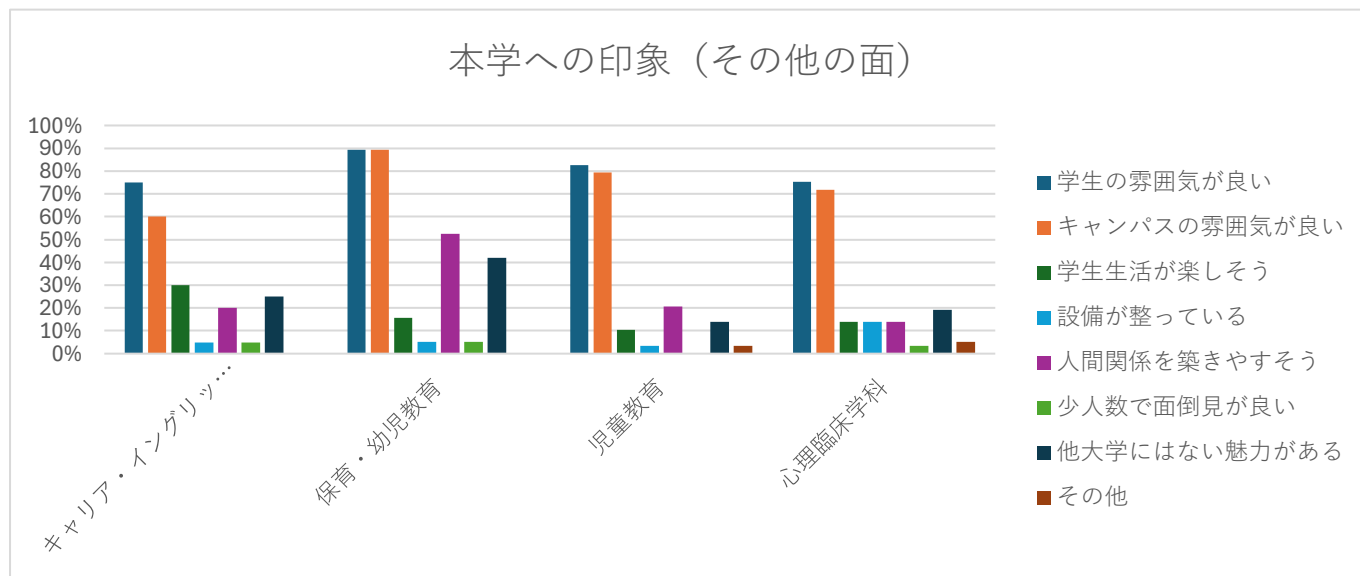
学びの面

学びの面に関してはどの学科においても「科目・授業内容に魅力がある」が高い割合になっています。また、全学科・専攻・コースにおいて「教授陣に魅力がある」の割合が増えており、入学前には関わることのなかった教授陣と入学後に関わり始めたことで新たに抱いた印象であると思われます。



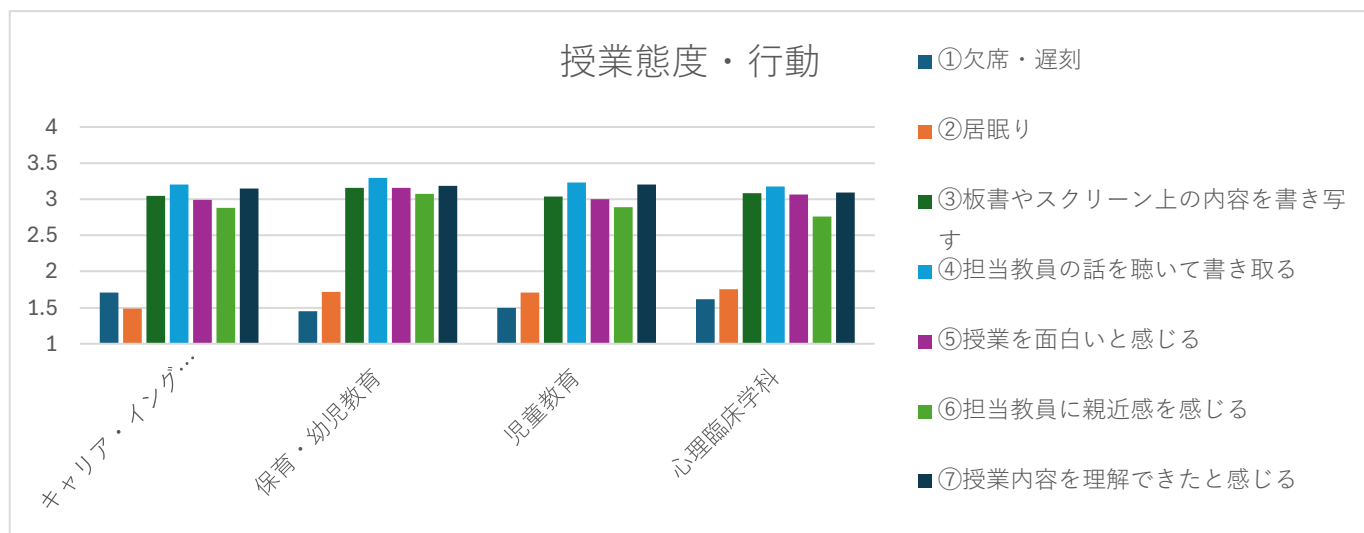
その他の面

その他の面に関しては、入学前のイメージと大きな変化はありませんが、「学生の雰囲気が良い」と「キャンパスの雰囲気が良い」が全体的に増加しており、入学後により雰囲気の良さを実感しているようです。

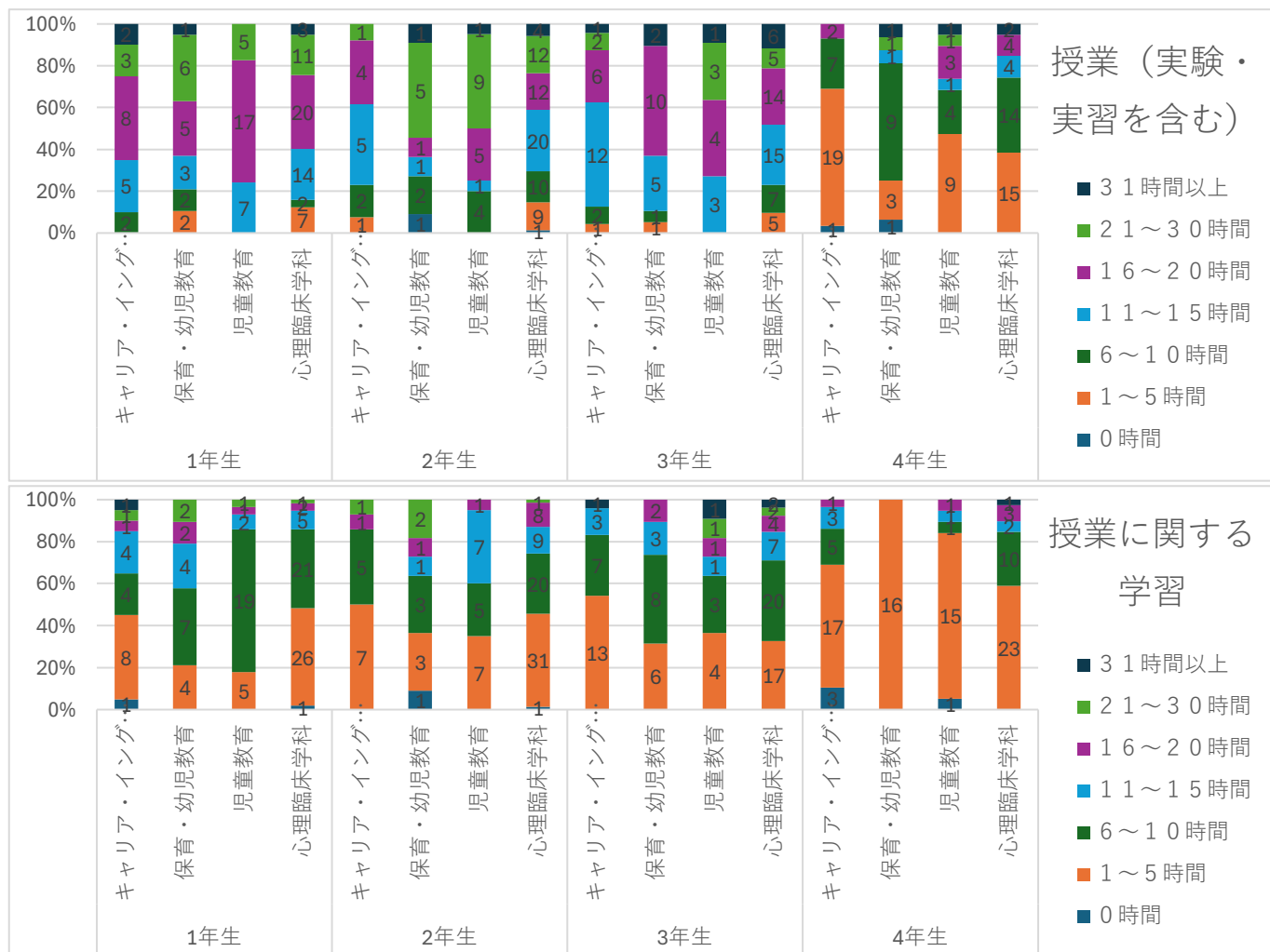


学修態度・行動

2022年度の授業態度・行動に関して「ほとんどなかった」「あまりなかった」「まあまああった」「かなりあった」の中からあてはまるものを一つだけ選択させて、それぞれを1,2,3,4と点数化して全学年での平均値を集計しました。項目「板書やスクリーン上の内容をノートに書き写す」「担当教員の話の聴いて書きとる」「授業を面白いと感じる」「担当教員に親近感を感じる」「授業内容を理解できたと感じる」は約3ポイント付近で「まあまああった」程度の評価となっており2022年度と比較してそれほど変化はありません。



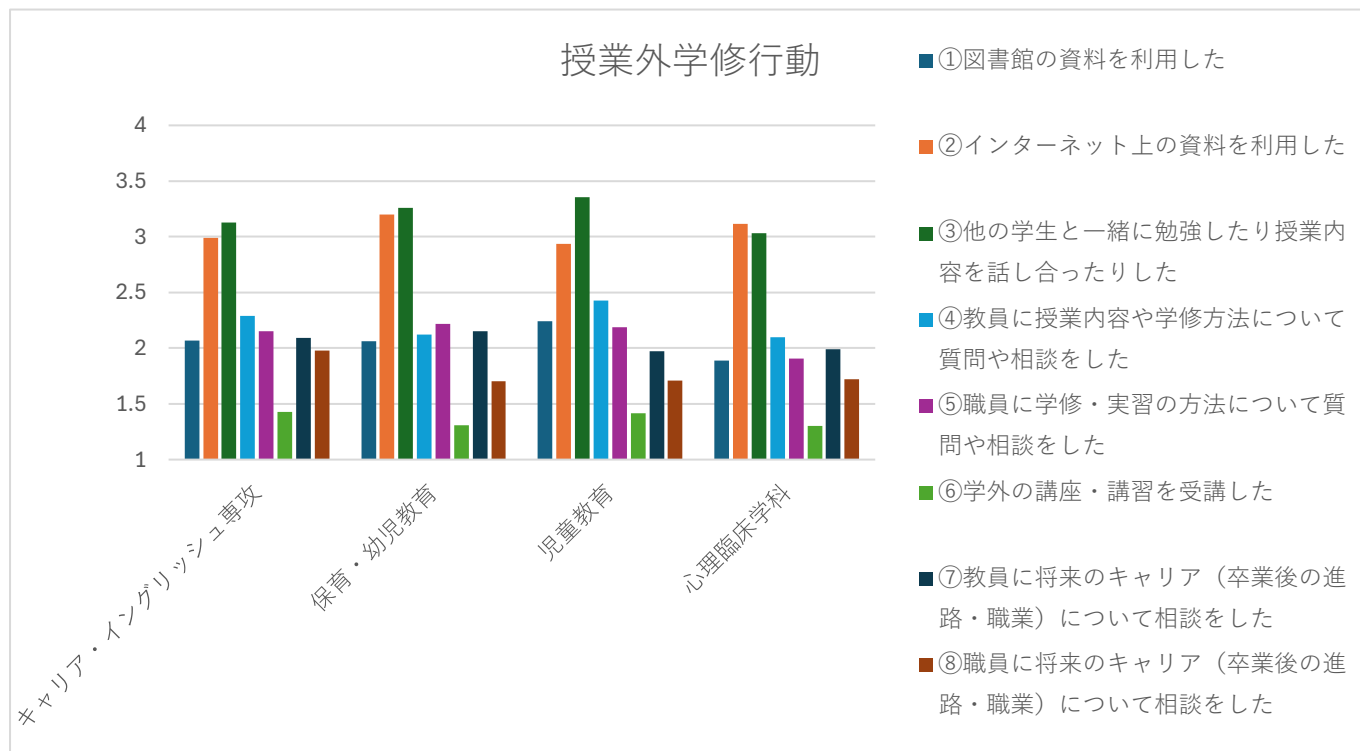
授業への出席時間と授業に関する学習にかけた一週間あたりの時間は以下のとおりです。



授業以外の学修活動

授業以外での学修活動に関して「ほとんどしなかった」「あまりしなかった」「まあまあした」「かなりした」の中からあてはまるものを一つだけ選択させて、それぞれを1,2,3,4と点数化して全学年での平均値を集計しました。

授業以外での学修行動は昨年度と分布は近い形になっています。「教員に授業内容や学修方法について質問や相談をした」と「学外の講座・講習を受講した」に関して、児童教育では昨年度より少し増加しているものの、他学科・専攻においては逆に少し減少している様子がみられます。

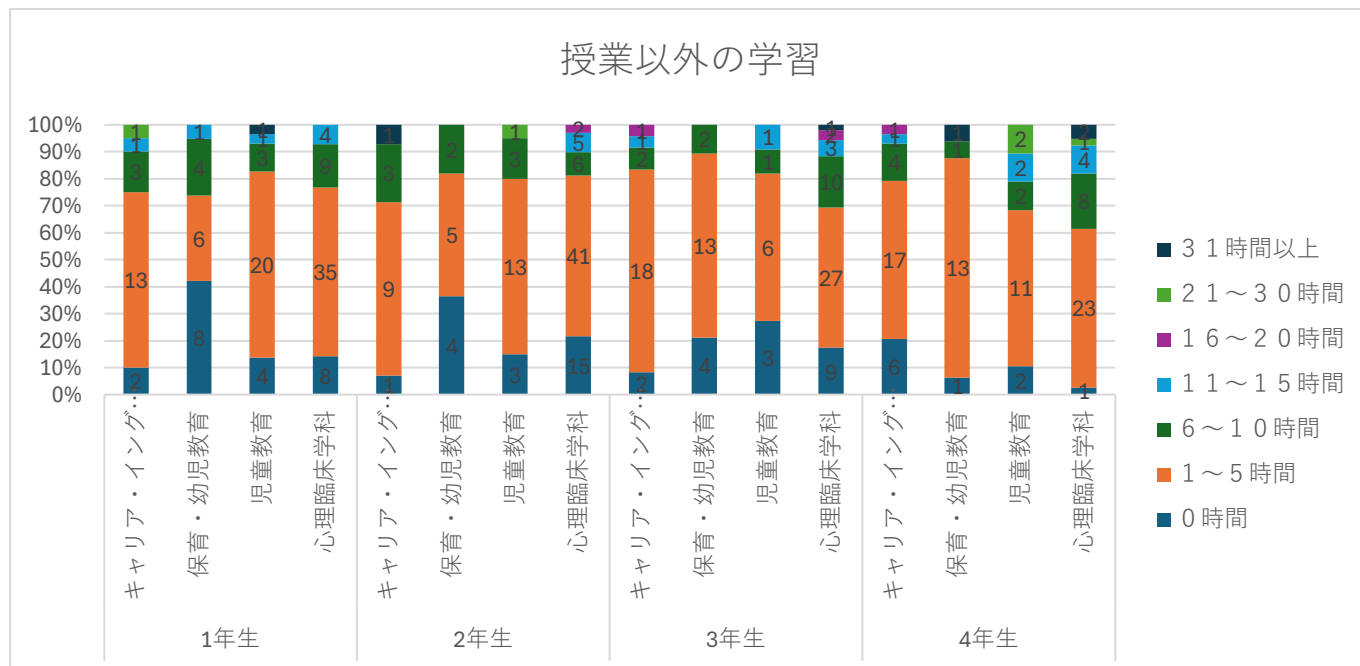


授業以外の活動時間

授業以外の活動時間は一週間あたり平均何時間か、「0 時間」「1-5 時間」「6-10 時間」「11-15 時間」「16-20 時間」「21-30 時間」「31 時間以上」から選択する形式で回答を集計しました。

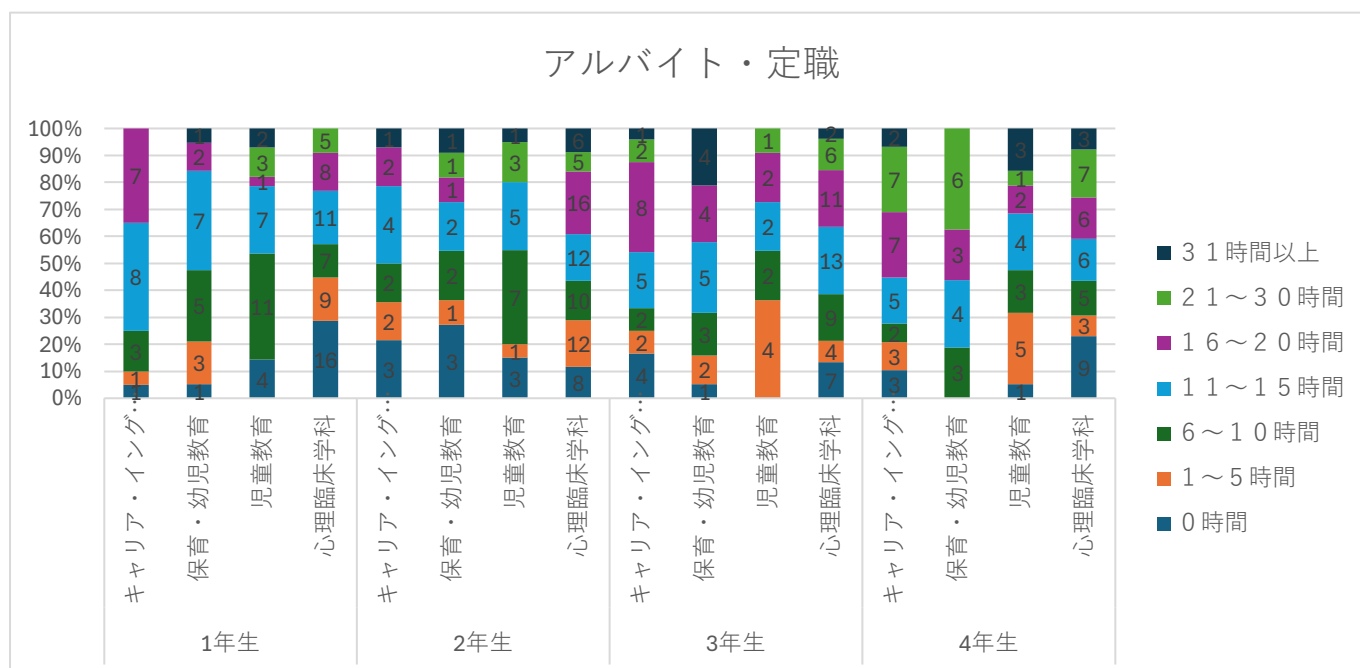
授業以外の学習時間

授業以外の学習時間は以下の図のようになりました。「1-5 時間」が一番多い回答でした。2021 年度同様、4 年生の児童教育と心理臨床学科では授業以外の学習時間が6時間以上の割合が高くなっています。



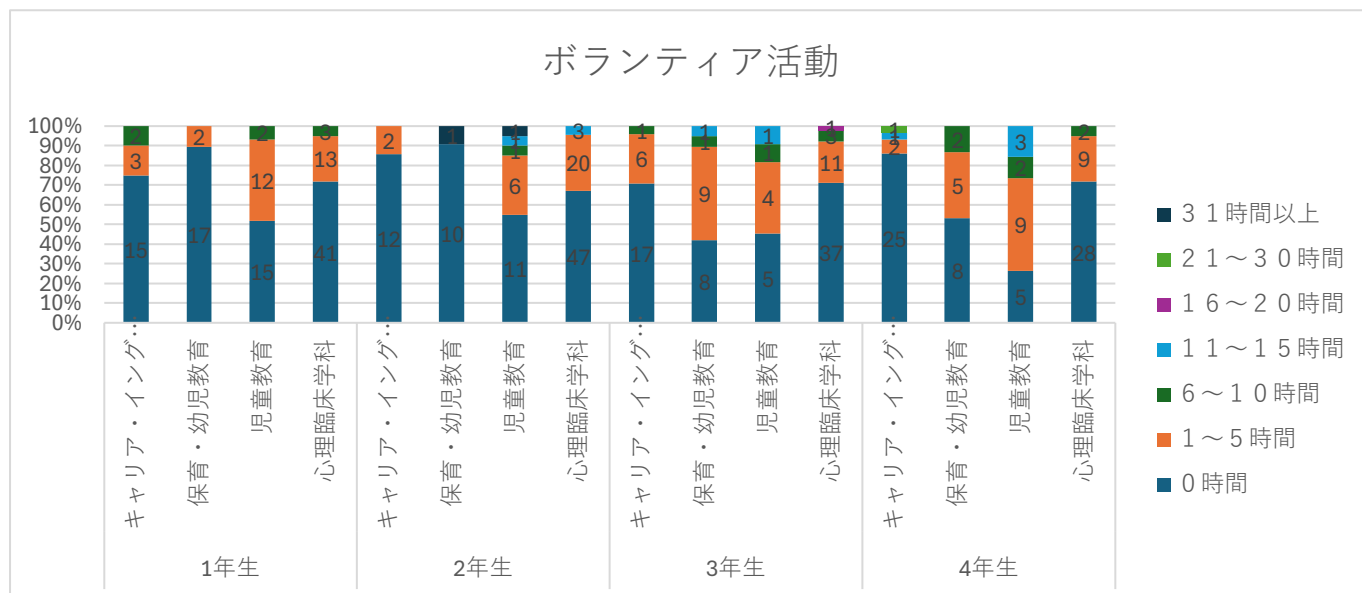
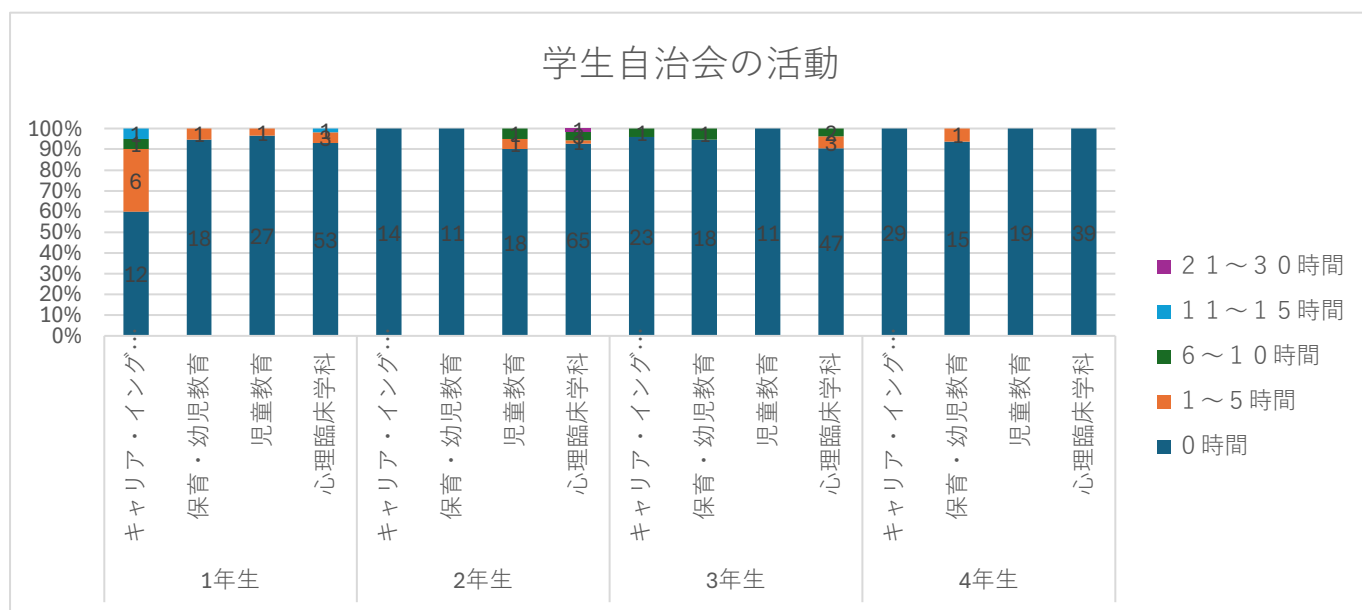
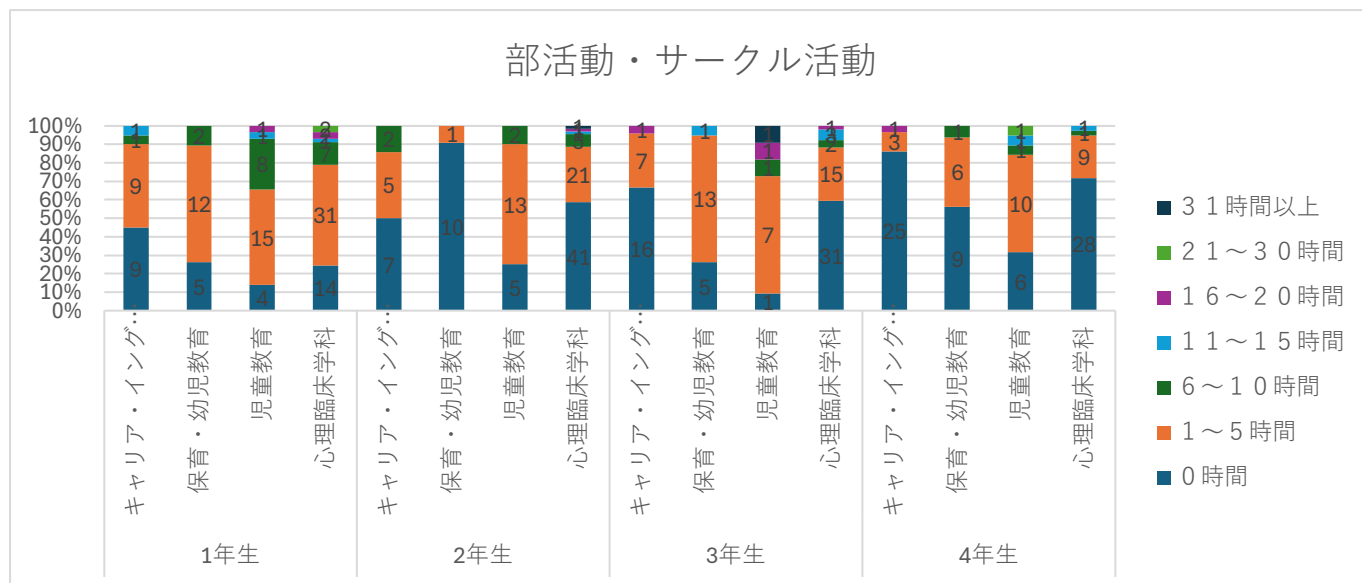
アルバイト・定職にかけている時間

アルバイト・定職にかけている時間は以下のように分布しています。アルバイトが 0 時間の学生の比率は少なく、多くの学生が何かしらのアルバイトをしているようです。



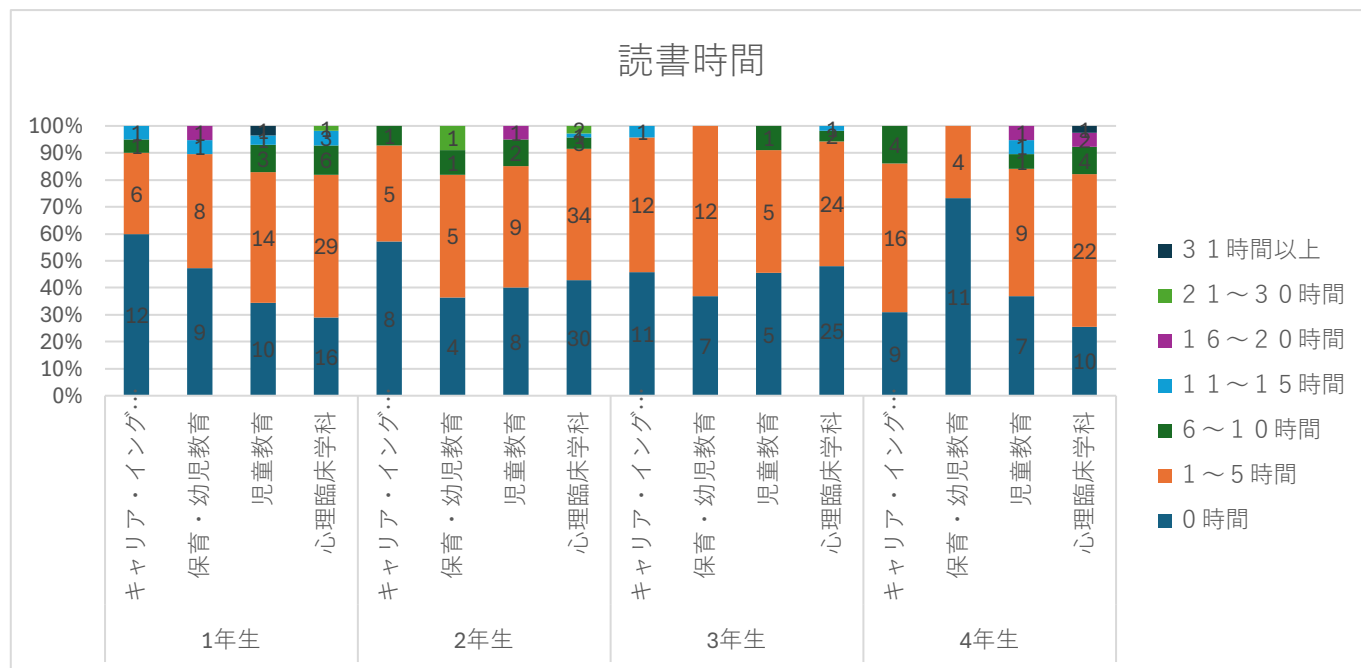
部活動・サークル活動，学生自治会の活動，ボランティア活動にかけている時間

部活・サークル参加状況，自治会参加状況，ボランティア参加状況は以下の図のとおりです。部活動にかかる時間が0時間でない人の割合は全学年で児童教育が最も高くなっています。学生自治会の活動では一部の学生が週に21～30時間の時間をかけているようです。



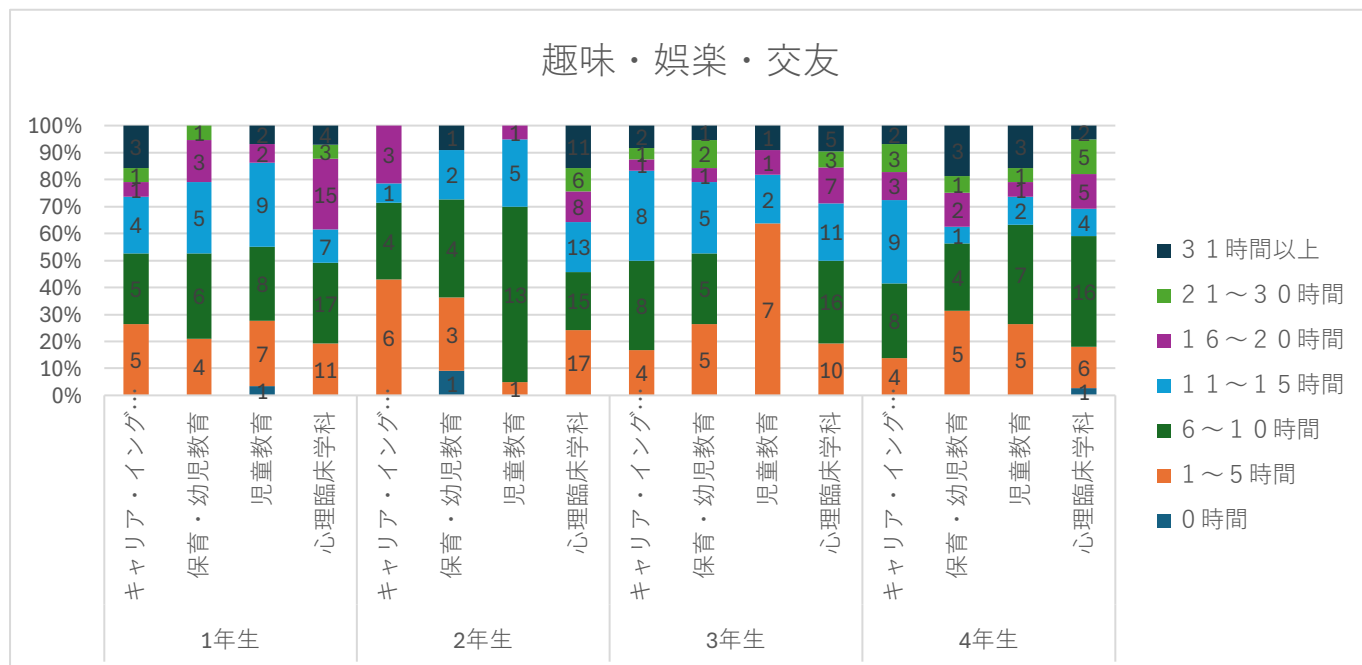
読書時間

読書時間の分布は各学年、各学科専攻コースでバラつきがありますが、2021 年度よりも 0 時間の割合が全体的に上昇しているようです。



趣味・娯楽・交友にける時間

趣味・娯楽・交友にける時間は以下になりました。

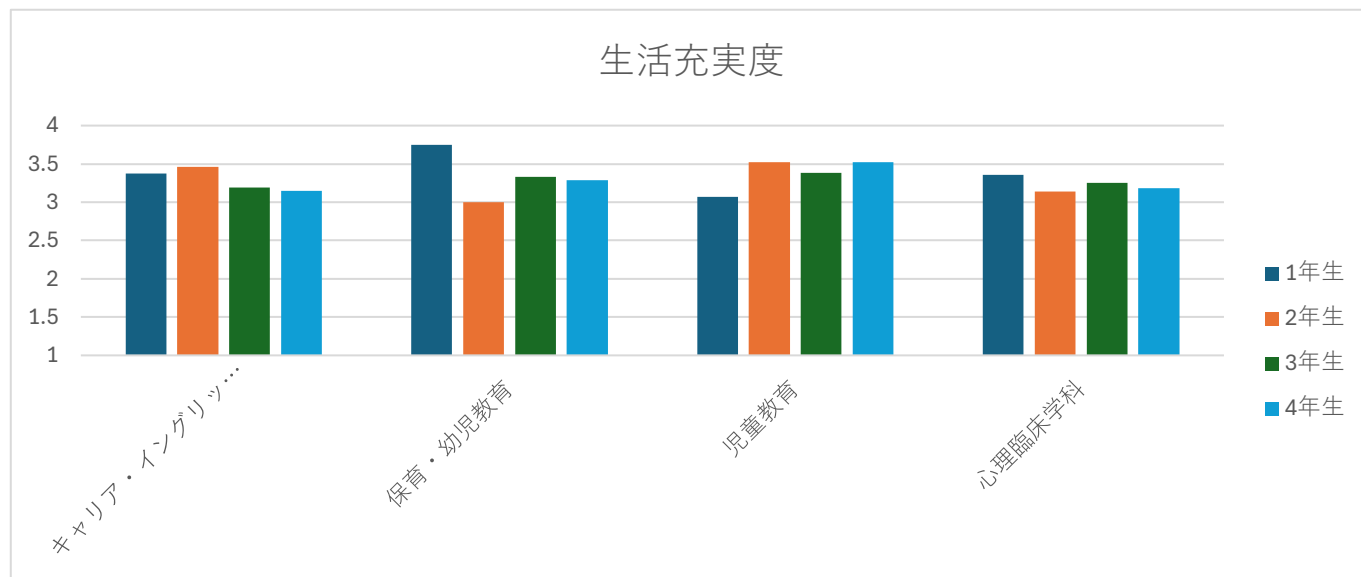


学生生活充実感および教育内容・施設・サービスに対する満足感

学生生活充実度

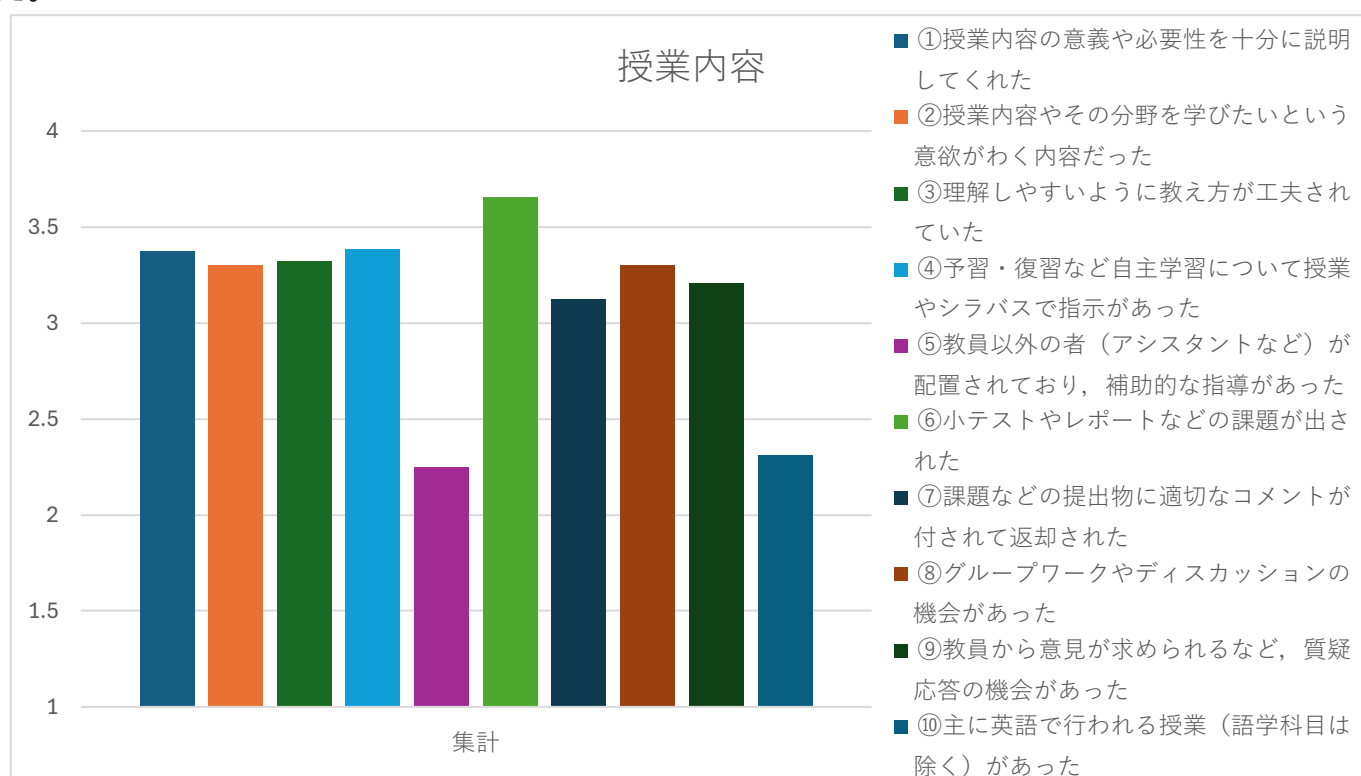
本学での学生生活にどの程度充実感があるかを、「1. まったく充実していなかった」「2. あまり充実していなかった」「3. まあまあ充実していた」「4. 充実していた」の4件法で尋ねました。各学科・専攻・コースの学年ごとの生活充実度の平均値は以下の通りです。

すべての学年および学科・専攻・コースで「まあまあ充実している」に相当する3ポイント以上の数値となっており、本学学生はおおむね充実した学生生活を送っていると言えます。



授業内容

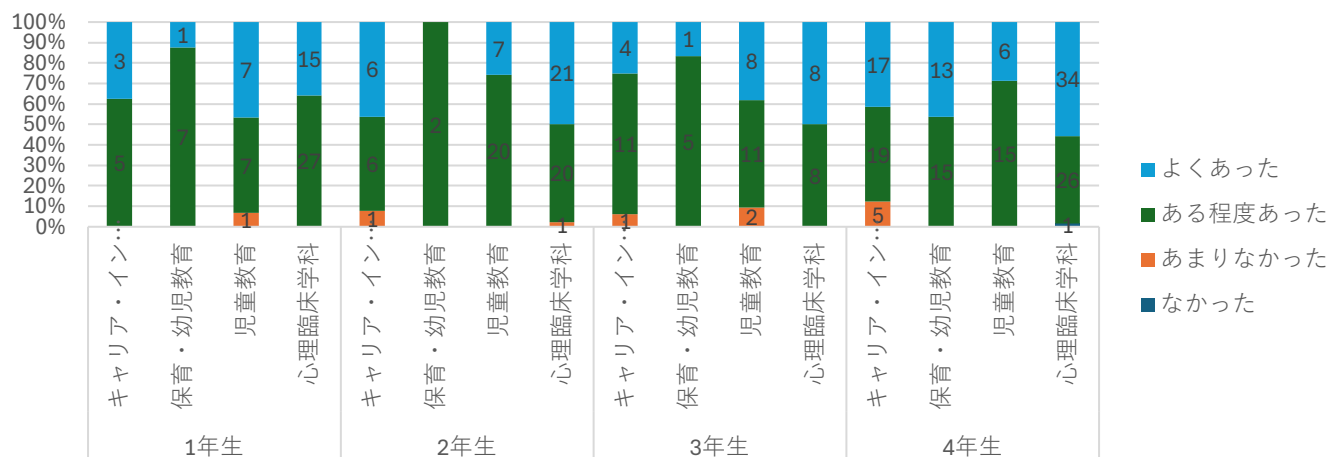
本学での授業において各項目をどれくらいの頻度で経験したのかを「1. なかった」「2. あまりなかった」「3. ある程度あった」「4. よくあった」の4件法で尋ねました。各項目の回答者数に対する平均値を以下に図で示します。どの項目に関しても2022年度からの大きな変化はありませんでした。



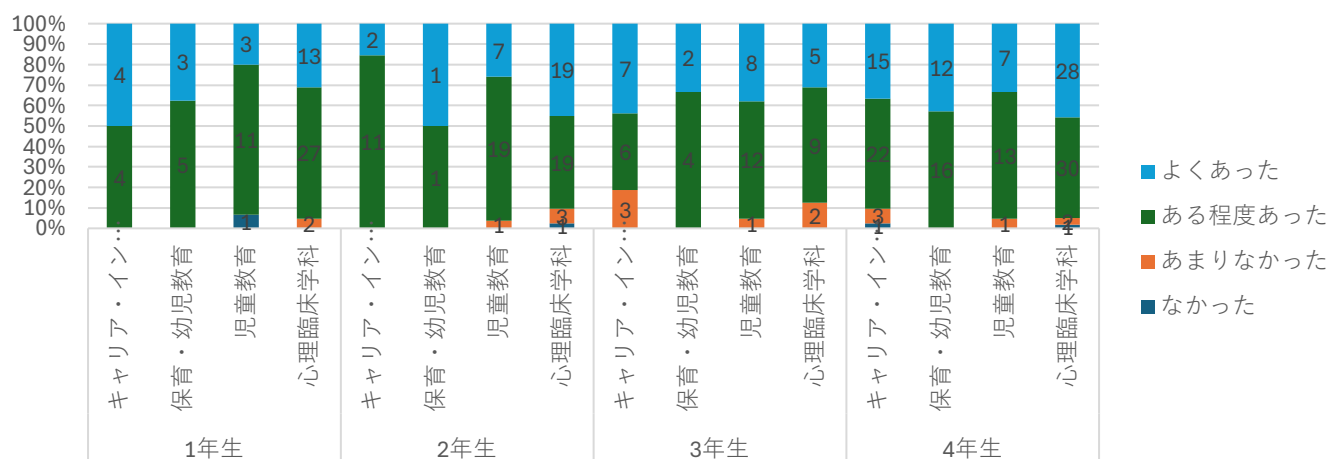
各学年・学科・専攻・コースごとの回答（授業内容）

各学年・学科・専攻・コースごとの回答の分布を以下に示します。

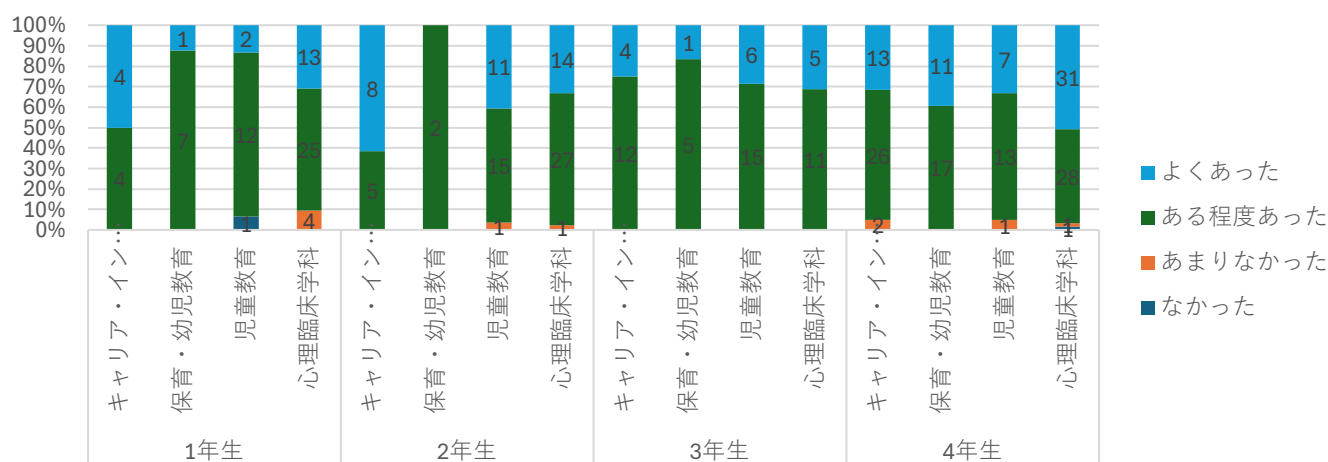
授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた



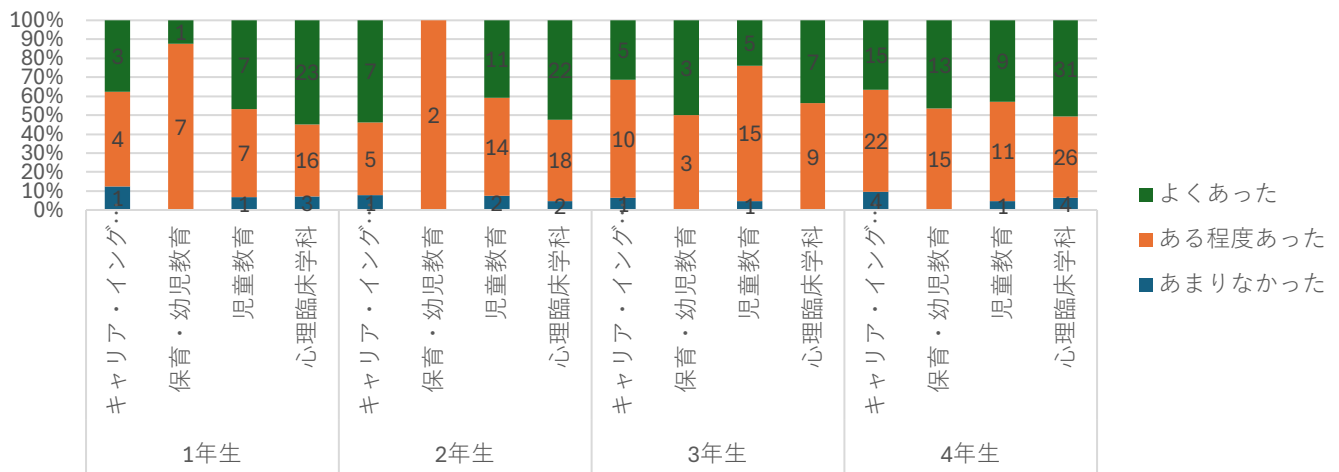
授業内容やその分野を学びたいという意欲がわく内容だった



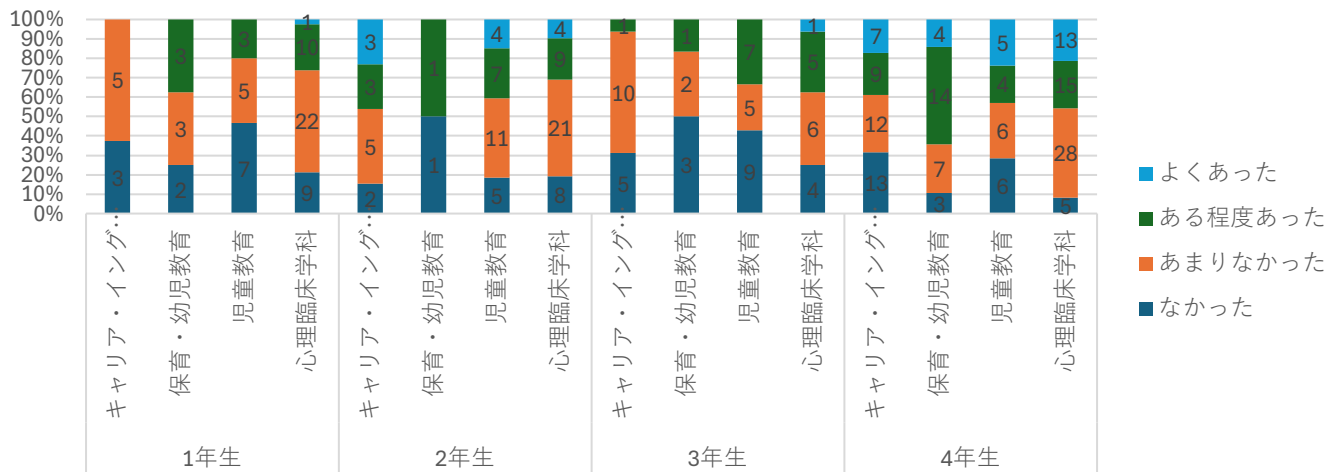
理解しやすいように教え方が工夫されていた



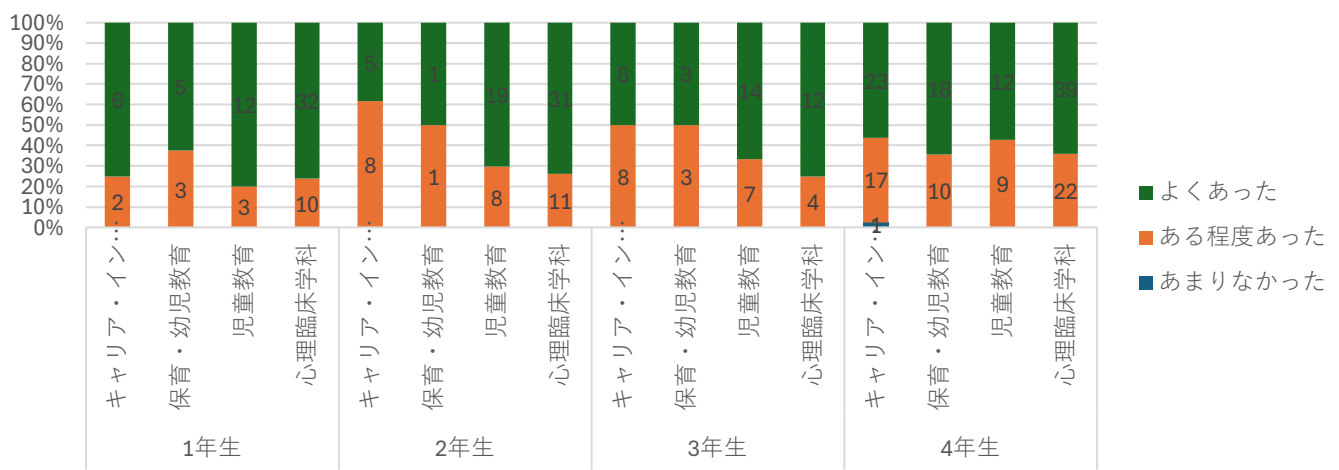
予習・復習など自主学習について授業やシラバスで指示があった



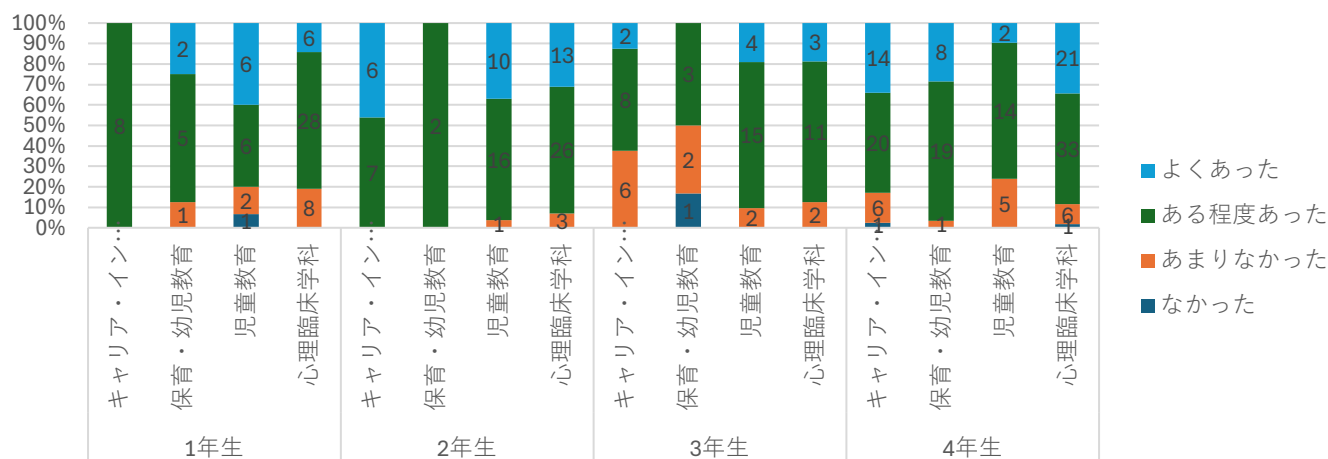
教員以外の者（アシスタントなど）が配置されており、補助的な指導があった



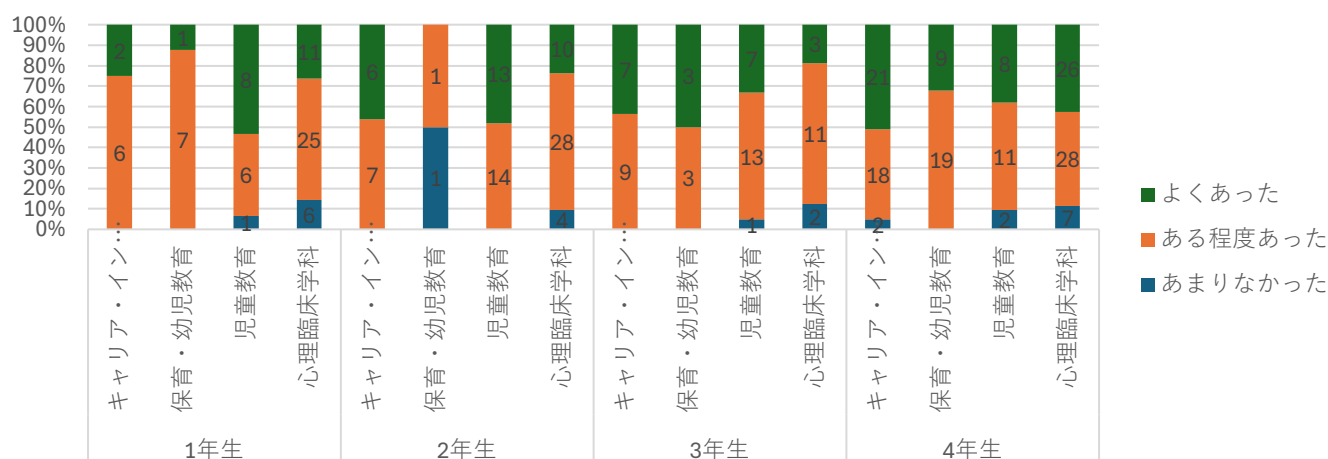
小テストやレポートなどの課題が出された



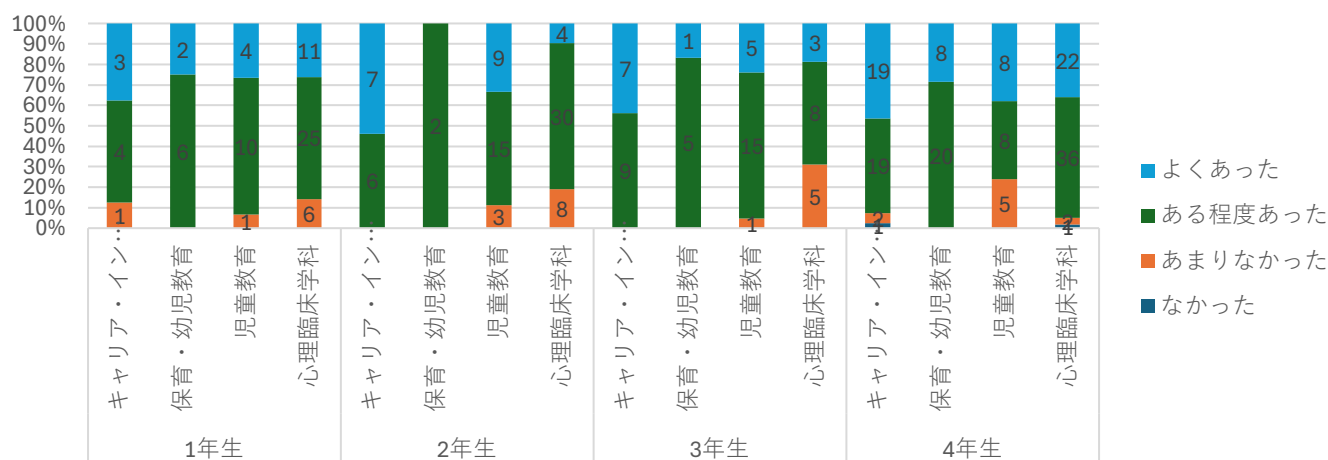
課題などの提出物に適切なコメントが付されて返却された



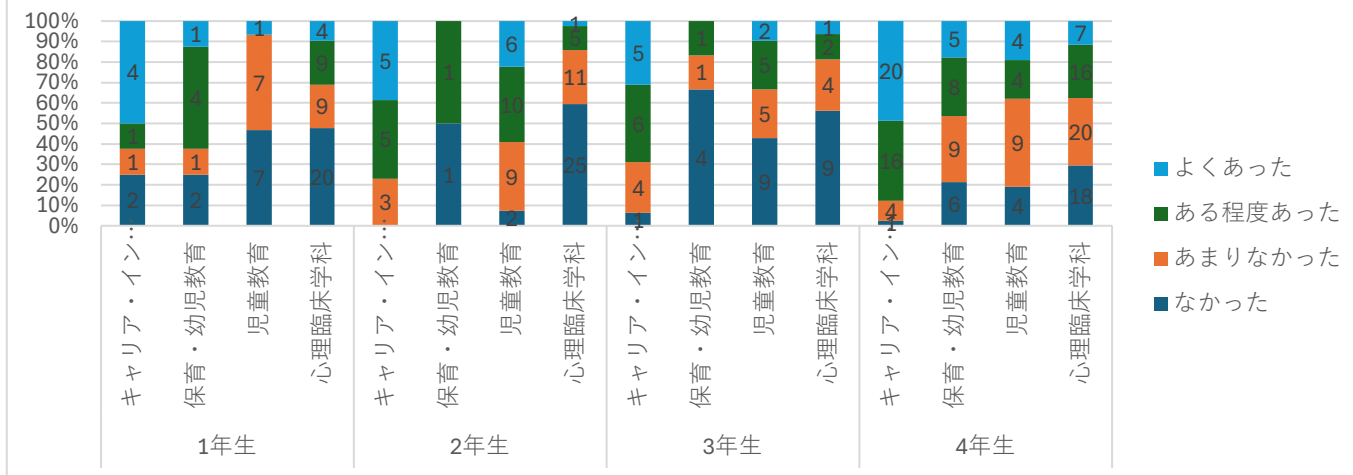
グループワークやディスカッションの機会があった



教員から意見が求められるなど、質疑応答の機会があった



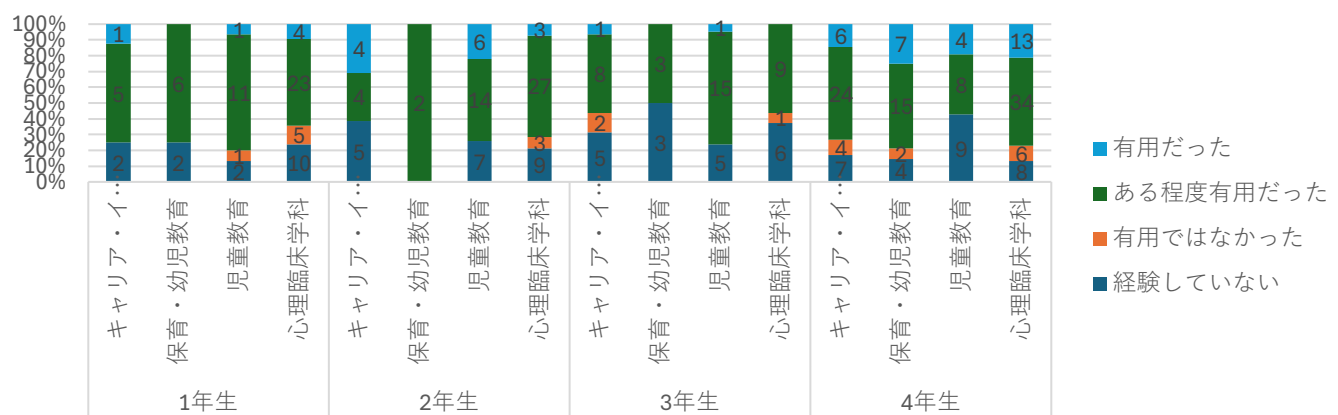
主に英語で行われる授業（語学科目は除く）があった



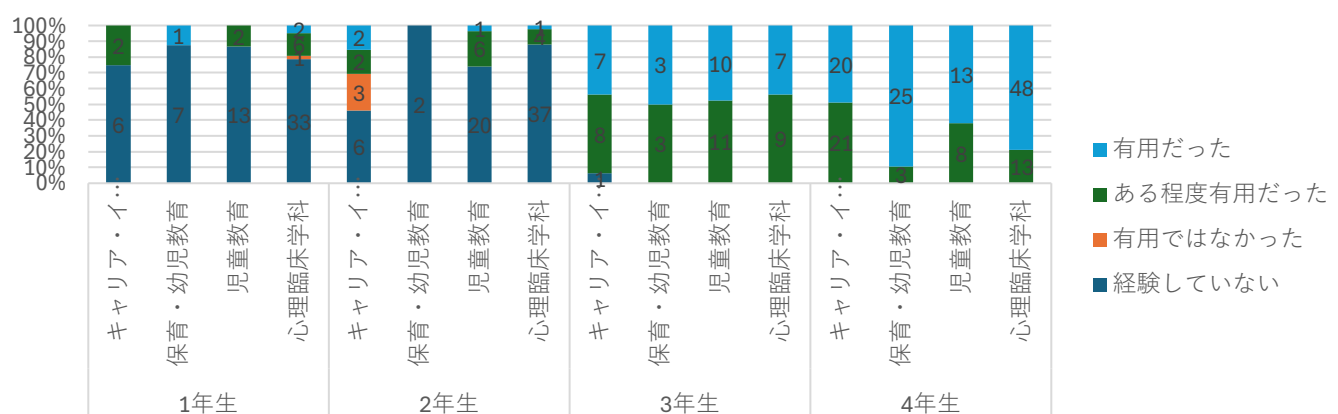
学習経験の有用性

本学の教育の機会に関して、その経験の有無と有用性に関して「経験していない」「有用ではなかった」「ある程度有用だった」「有用だった」の4つの選択肢から選択してもらい、集計しました。質問項目ごとの学年・学科・専攻・コースごとの回答の分布を以下にまとめます。

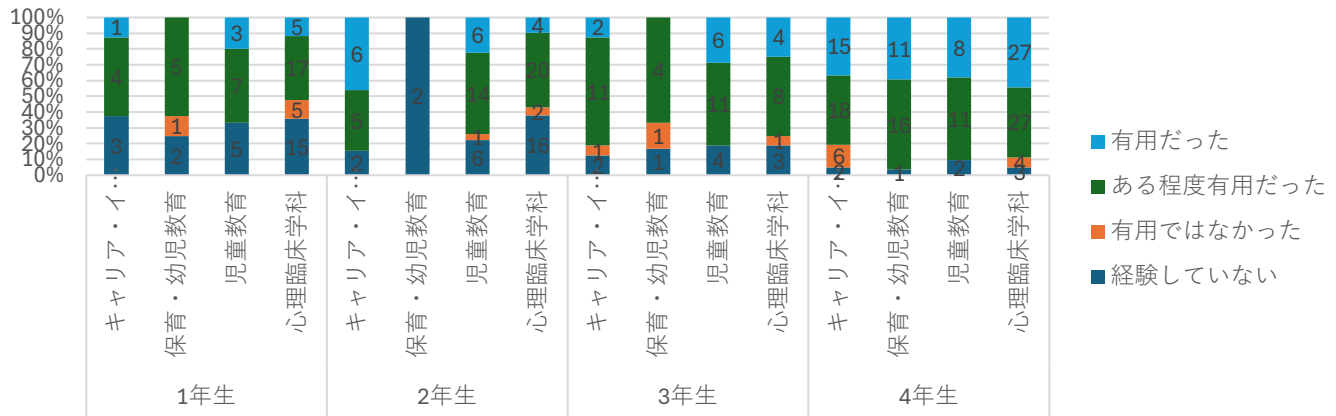
大学での勉強の方法を学ぶ科目



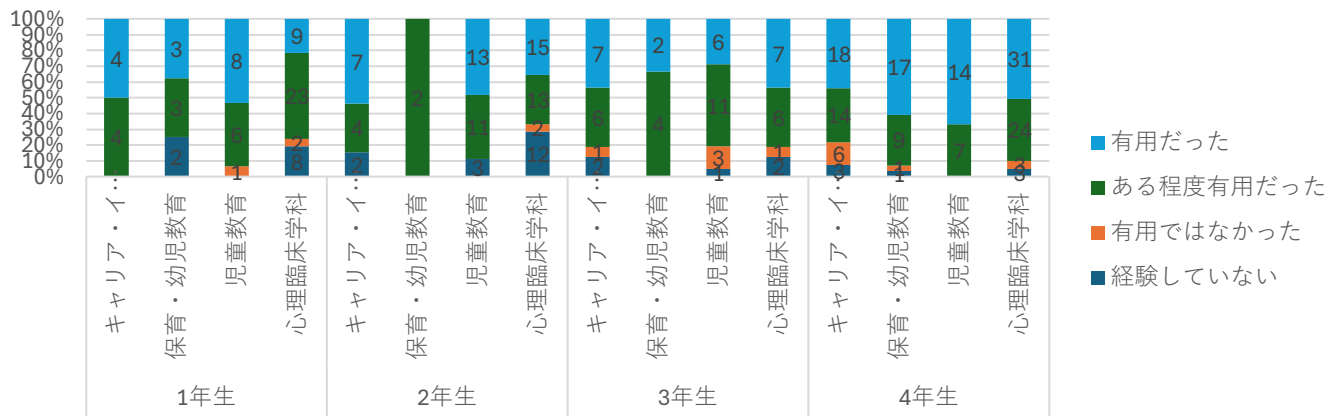
研究室やゼミでの少人数教育



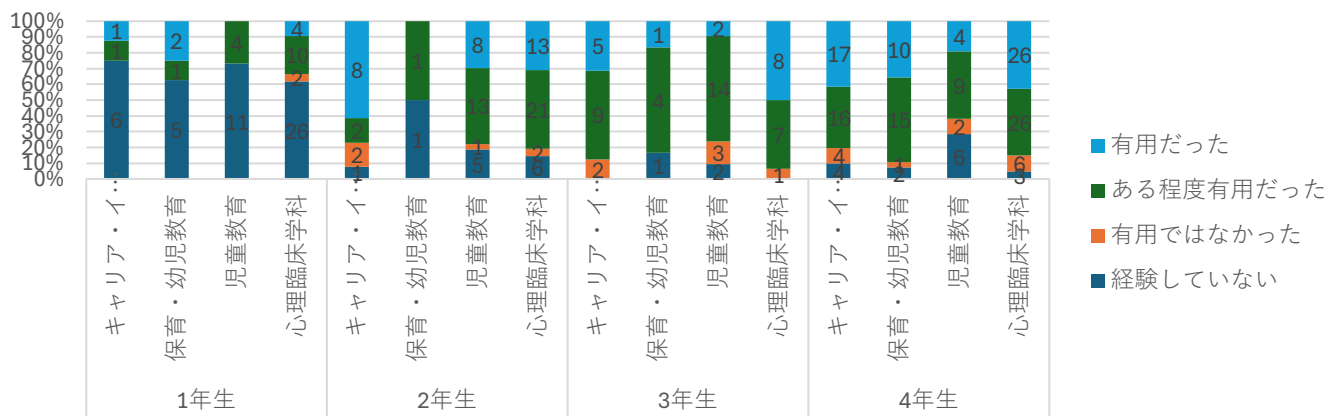
(授業以外で) 教員に質問や勉強の仕方を相談する機会



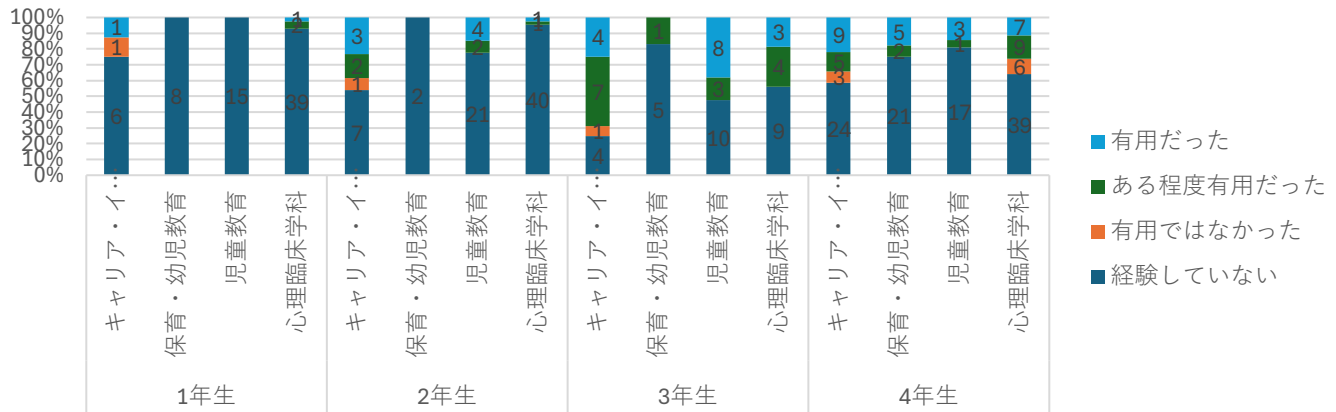
(授業時間以外で) 他の学生と一緒に学習する機会



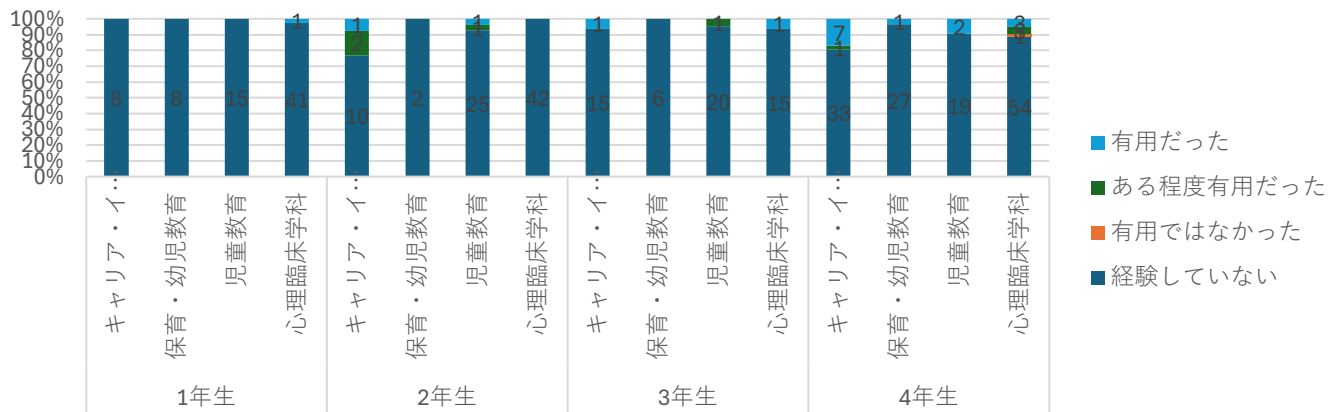
キャリアに関する科目, キャリアカウンセリング



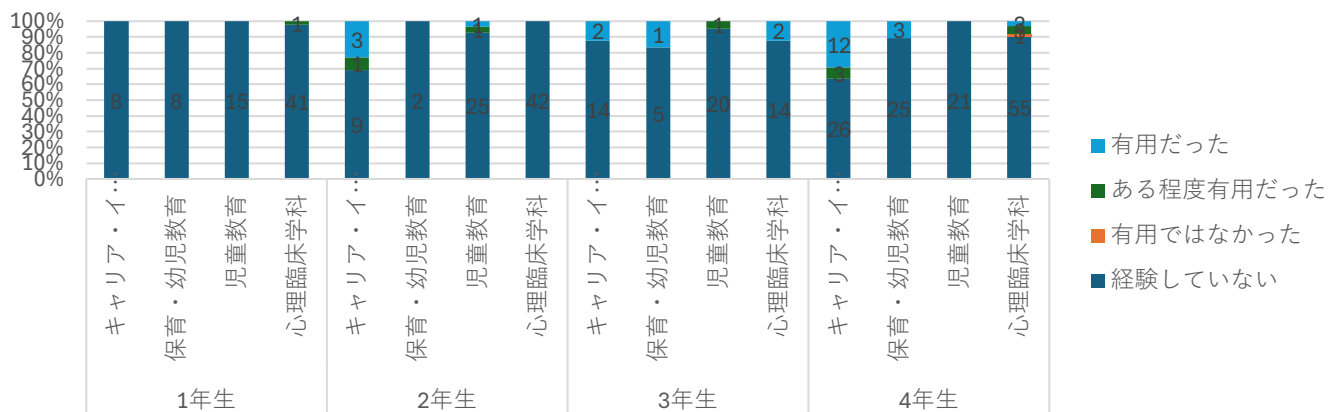
インターンシップ（5日以上のもの）



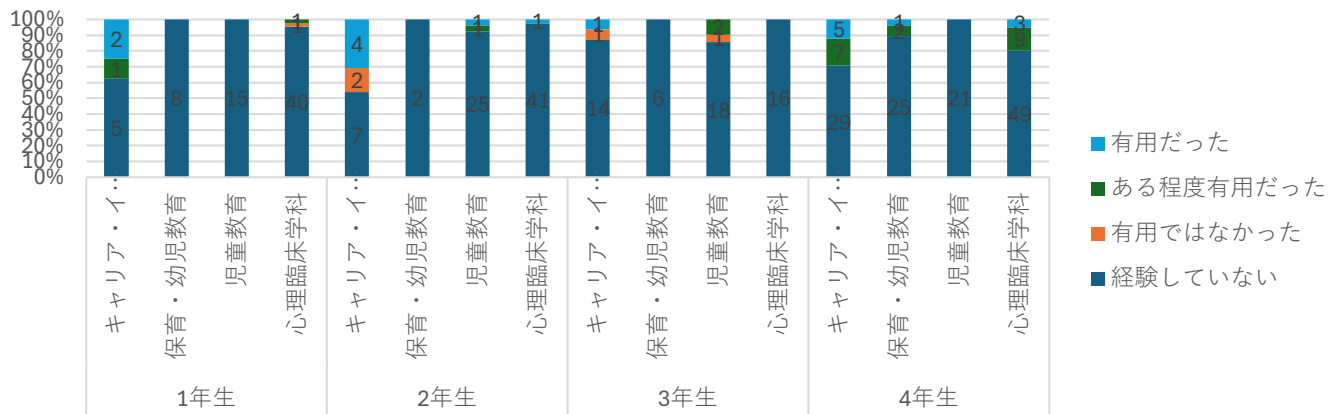
海外留学（3ヶ月以上）



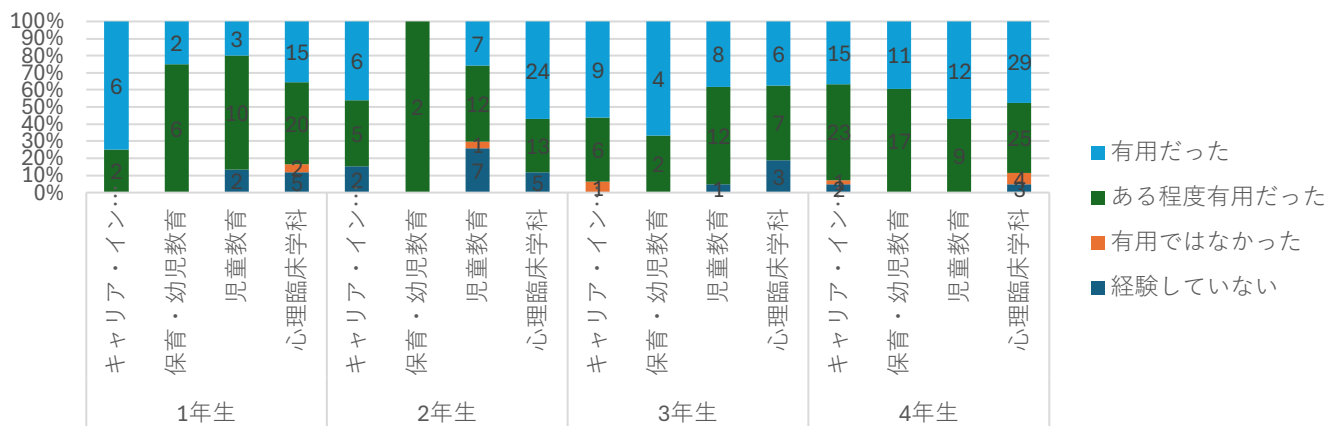
海外留学・海外研修（3ヶ月未満）



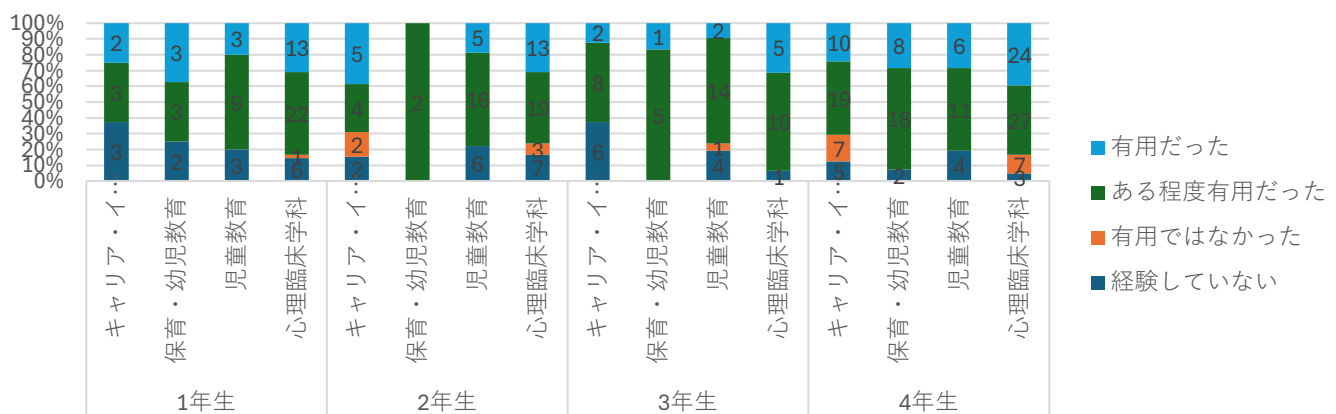
(学内で) 自分とは異なる文化圏の学生との交流



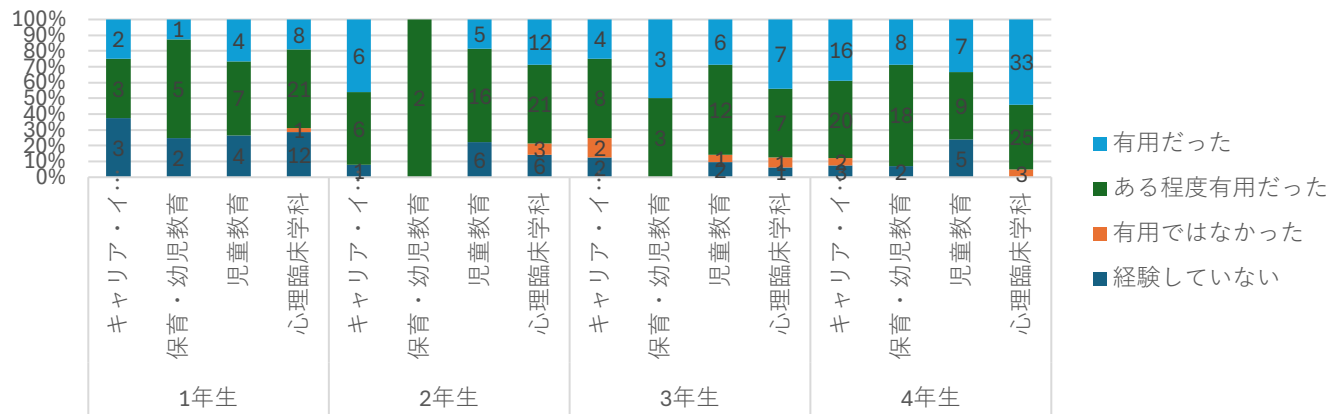
図書館やアクティブ・ラーニングスペースなど大学施設を活用した学習



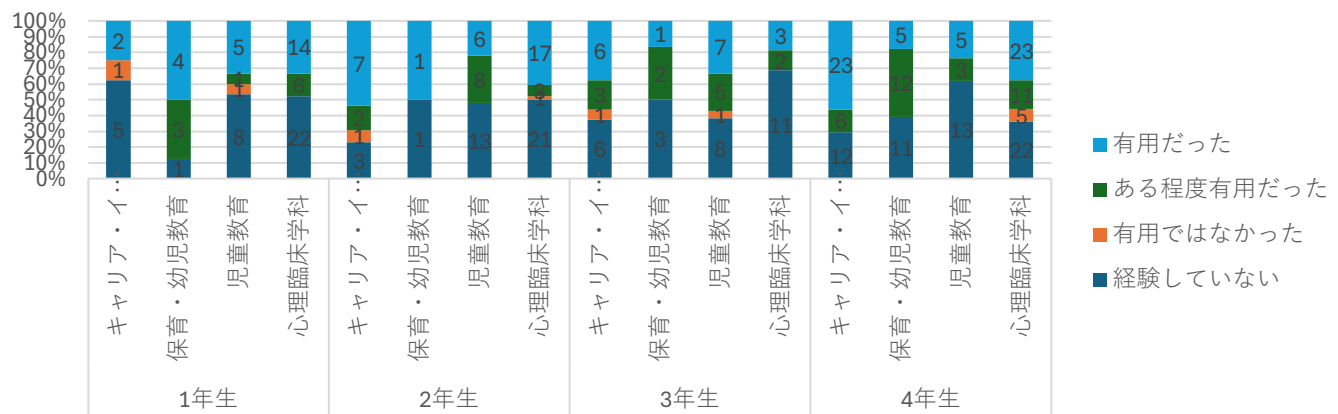
科目履修や資格取得に関する教育相談やサポート



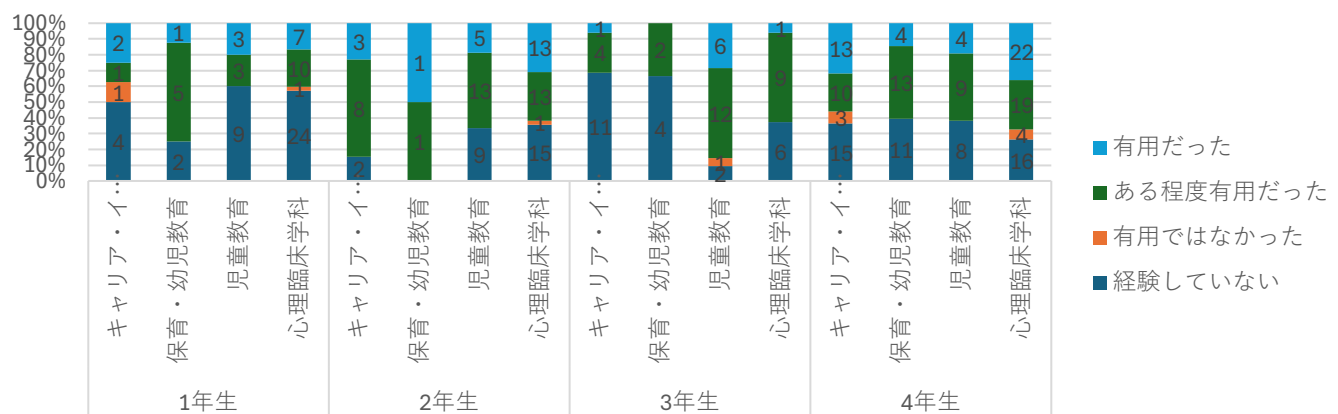
学生生活や就職に関する相談やサポート



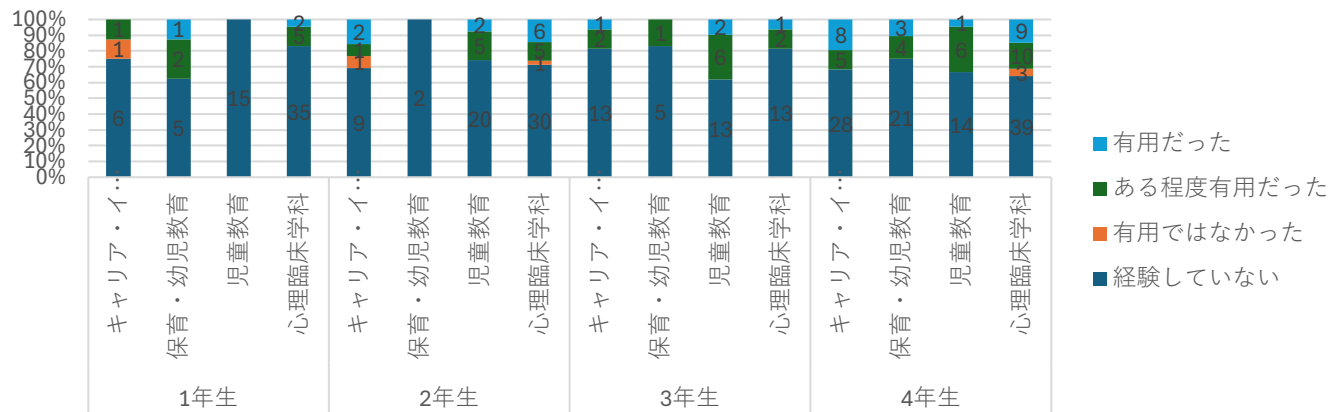
奨学金などの生活支援制度



学生相談などの心身の健康に関わる相談やサポート



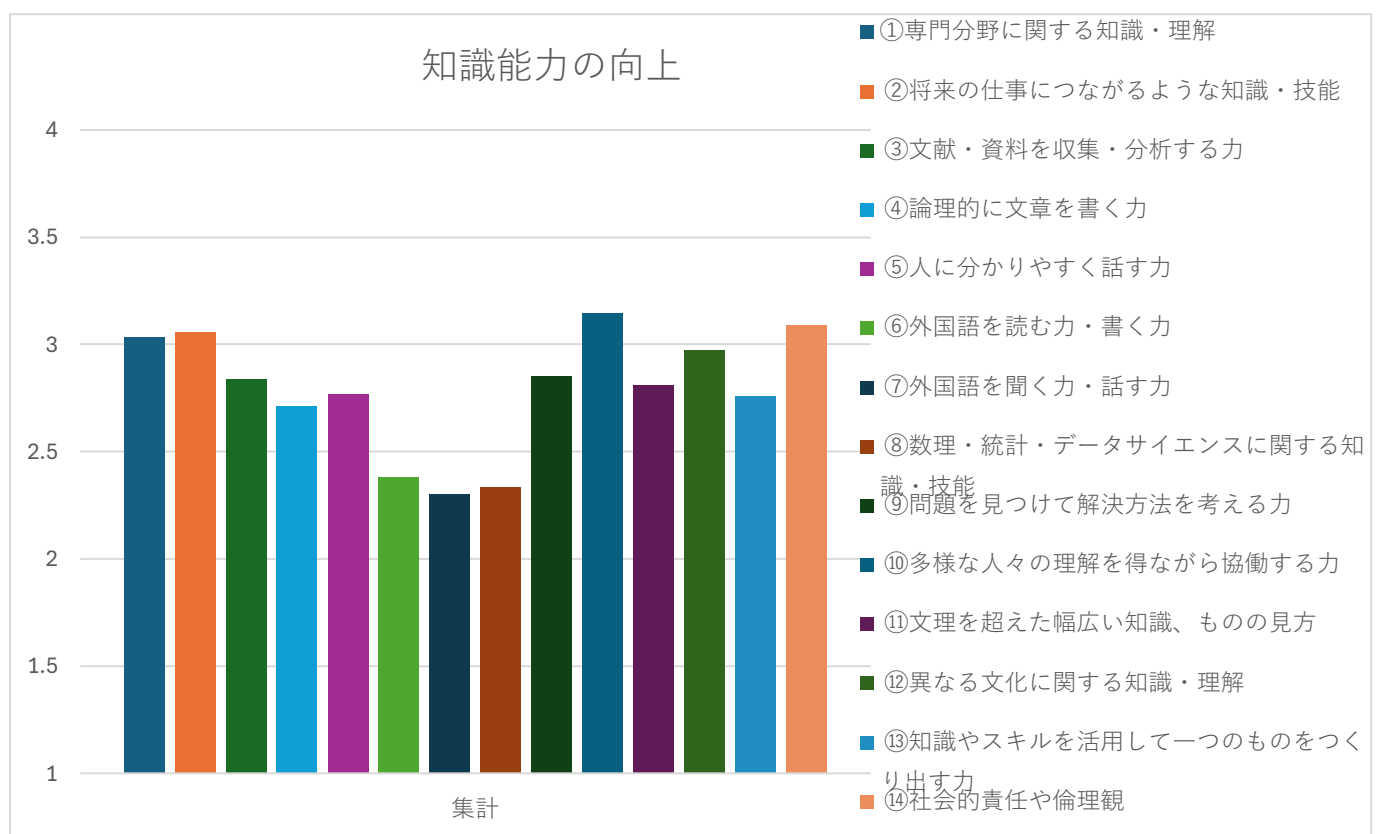
事件・事故・被災・ハラスメントに関する相談やサポート



知識能力の向上

2022年度の「これまでを振り返って、次の知識・能力を身に付けるために、本学の教育は役立っていたと思いますか。」という質問は廃止され、代わりに2022年度にこの質問と統合されていた「本学の教育を受けて、次のような知識・能力はどの程度身についたと思いますか。」という質問へと変更となりました。(2021年度までのデータをみると「身についたと思いますか」という質問と比較して「役立っていたと思いますか。」という質問の回答は平均値が0.5ポイント程度ずつ高くなる傾向があります。)

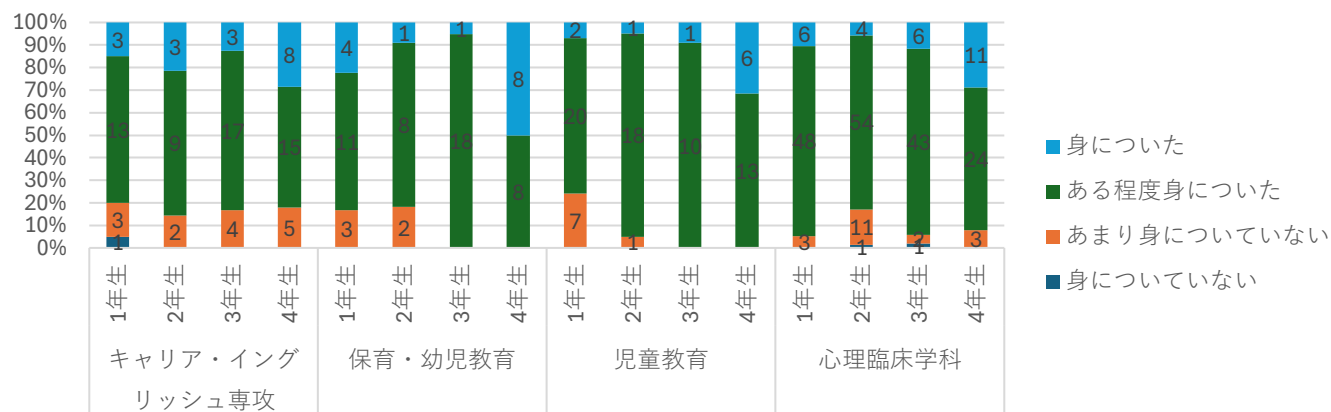
各項目に挙げる知識・能力に関して、「1. 身についていない」「2. あまり身についていない」「3. ある程度身についた」「4. 身についた」の4件法で質問し、回答者数に対する平均値を求めました。質問内容が変わり項目もいくつか変更・追加されているため単純な比較はできませんが、対応する質問に関しては2022年度と比較して大きく変化した点は見られません。



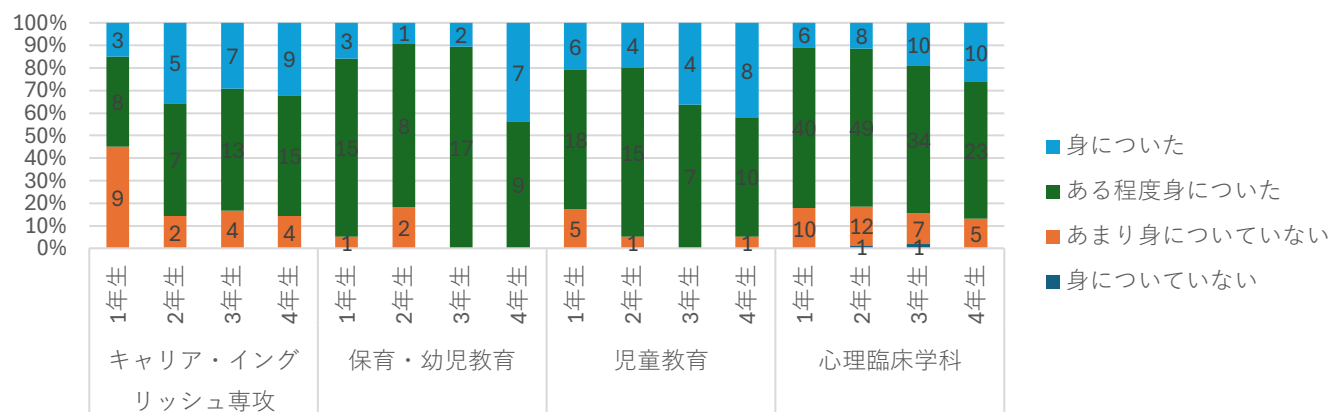
各 学 年 ・ 学 科 ・ 専 攻 ・ コースごと

各学年および各学科・専攻・コースの各項目の分布は下図のとおりです。

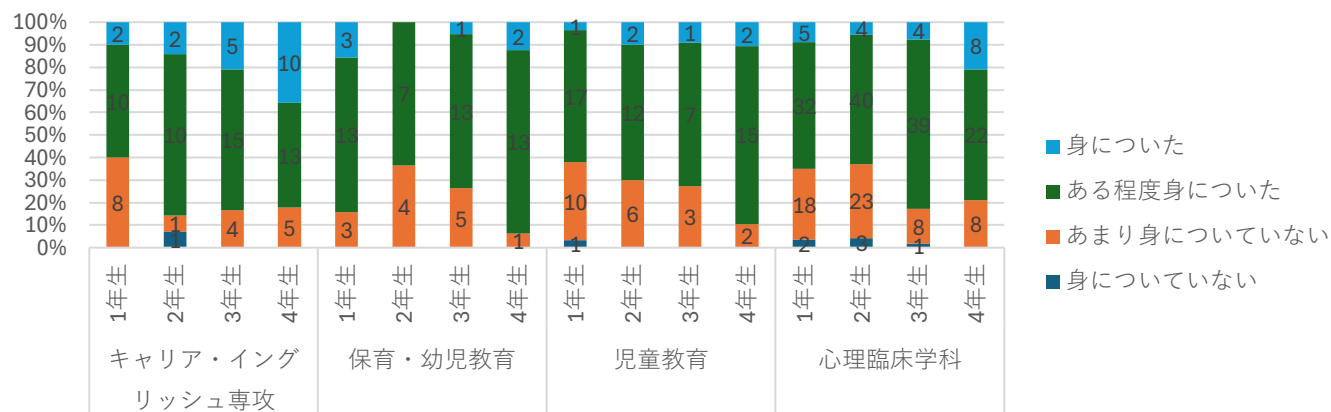
専門分野に関する知識・理解



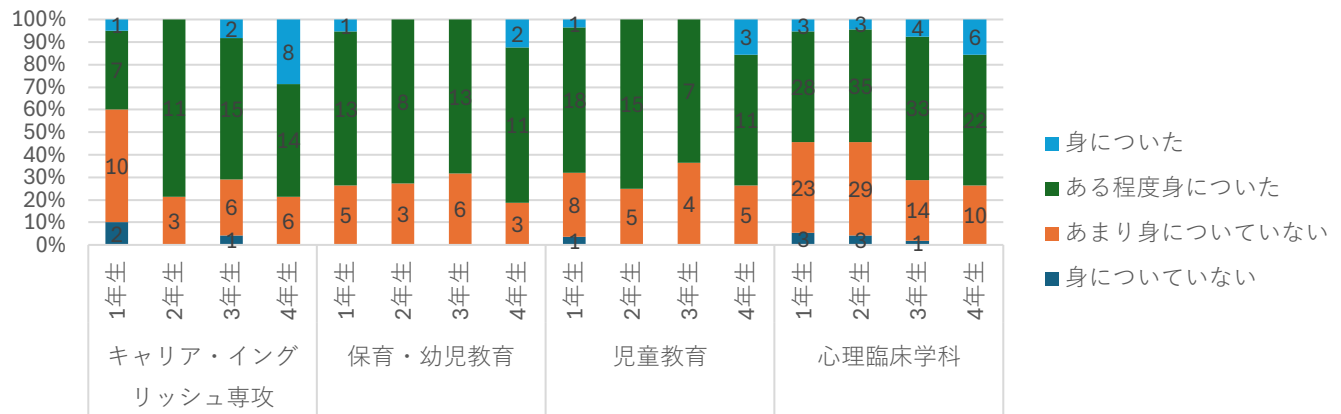
将来の仕事につながるような知識・技能



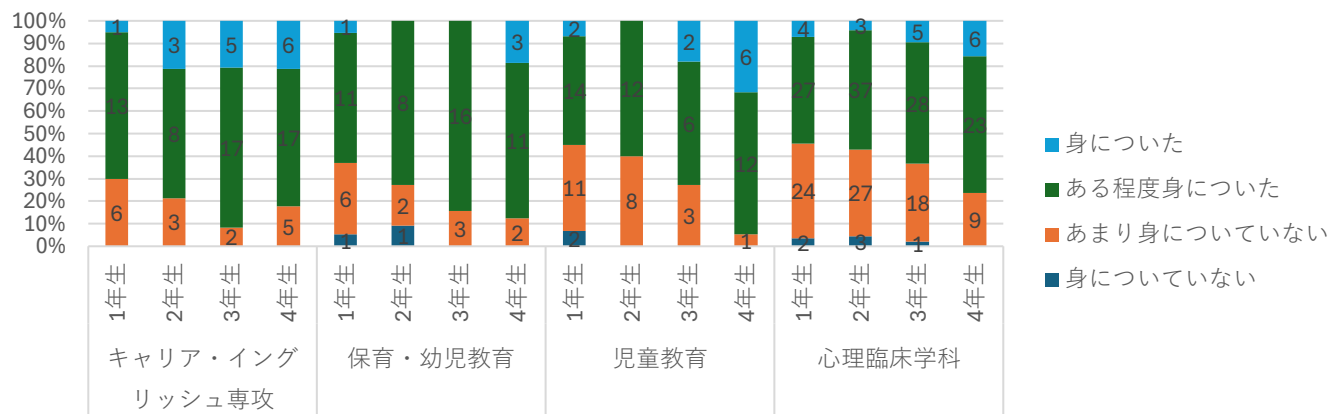
文献・資料を収集・分析する力



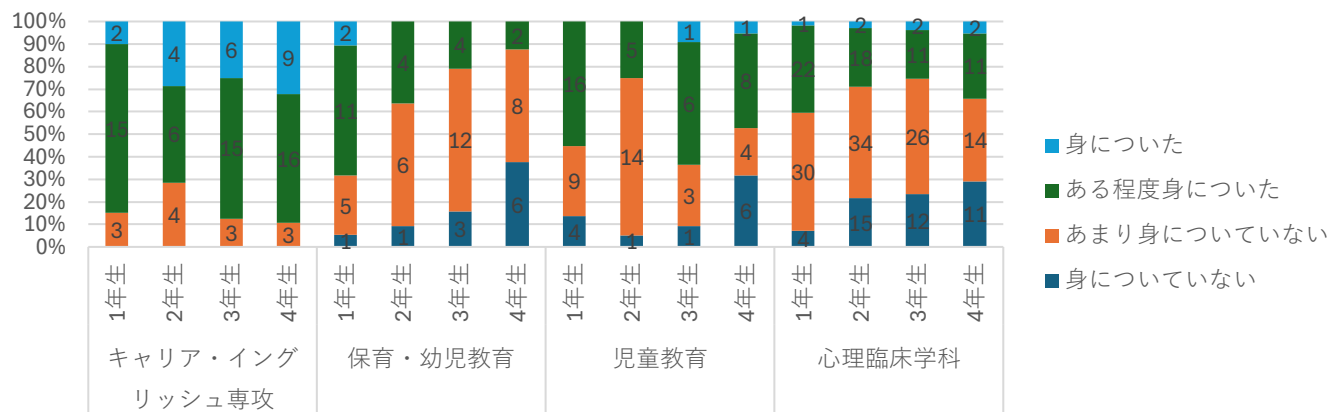
論理的に文章を書く力



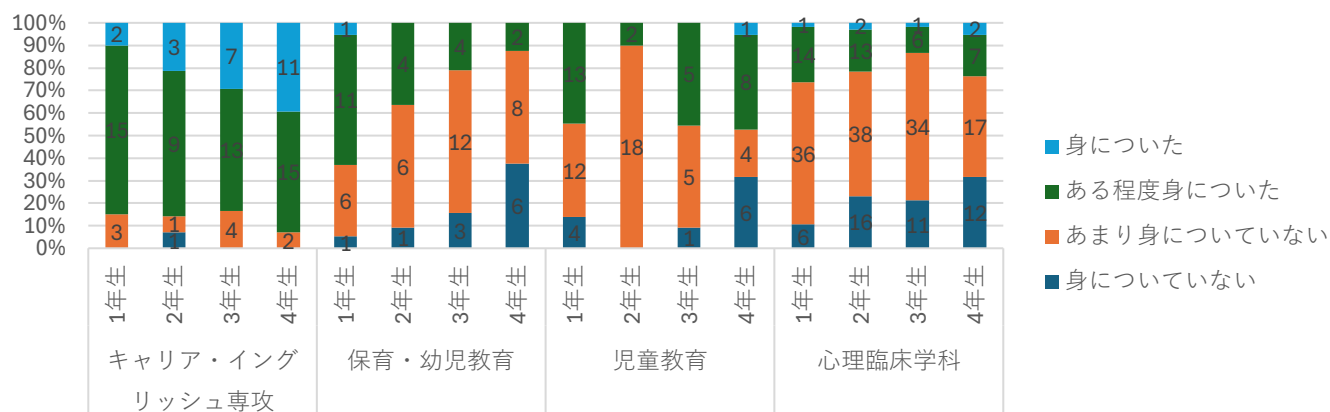
人に分かりやすく話す力



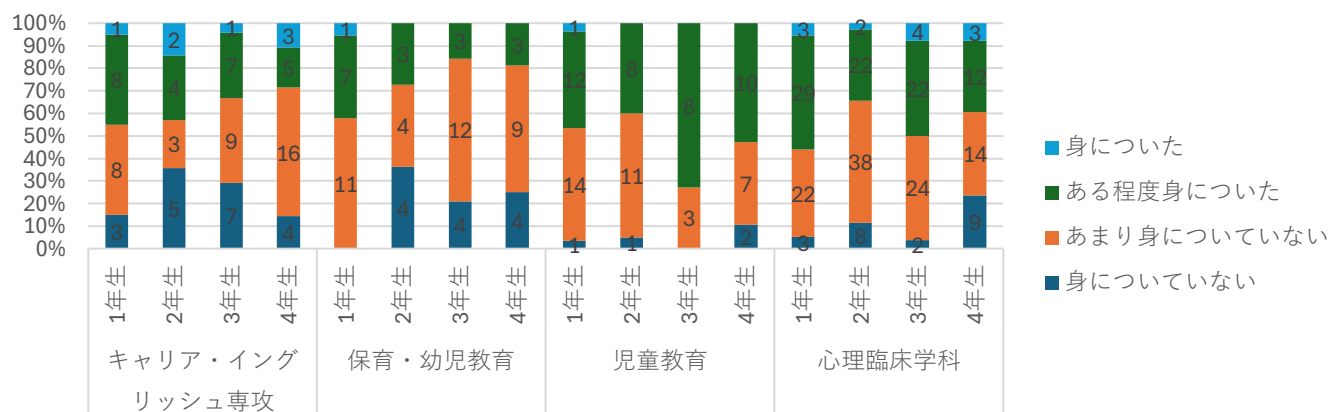
外国語を読む力・書く力



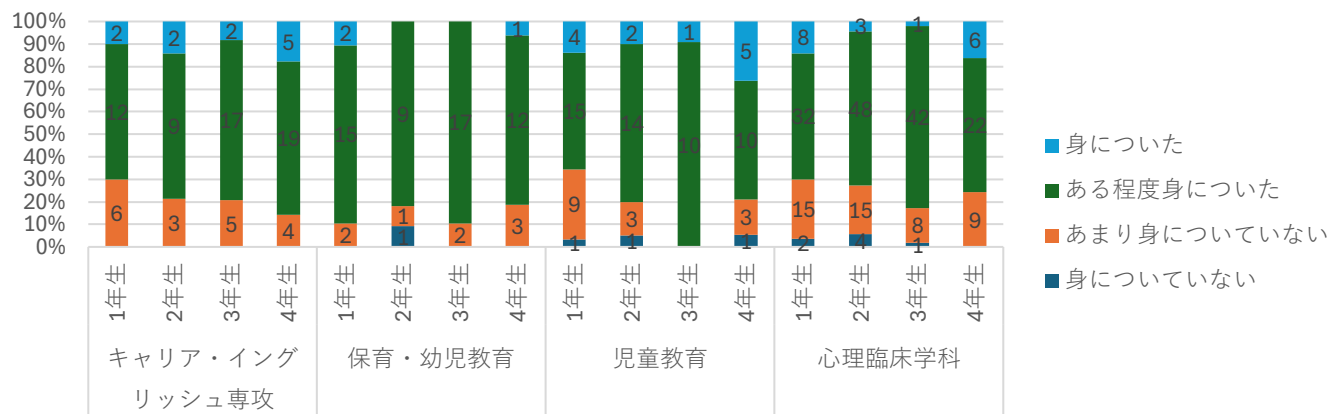
外国語を聞く力・話す力



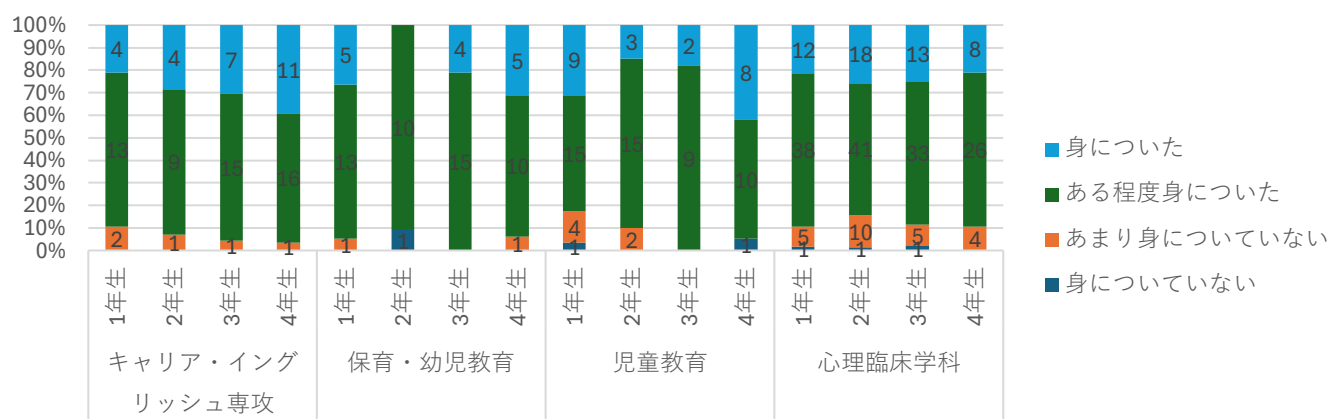
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



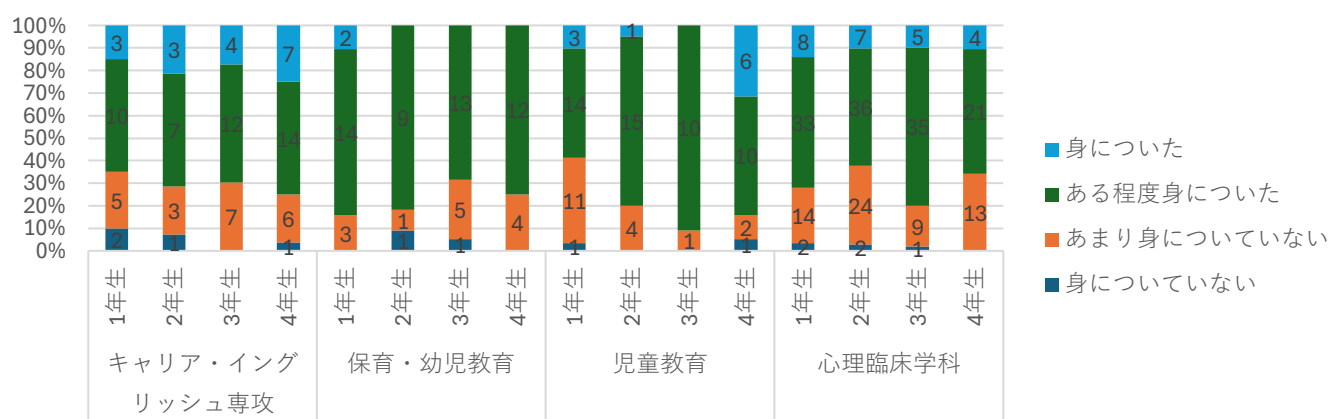
問題を見つけて解決方法を考える力



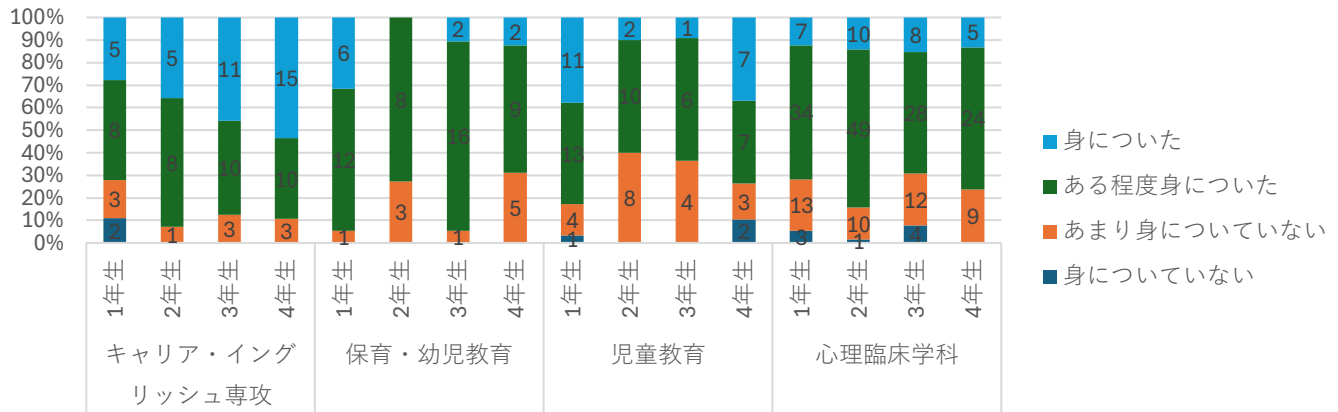
多様な人々の理解を得ながら協働する力



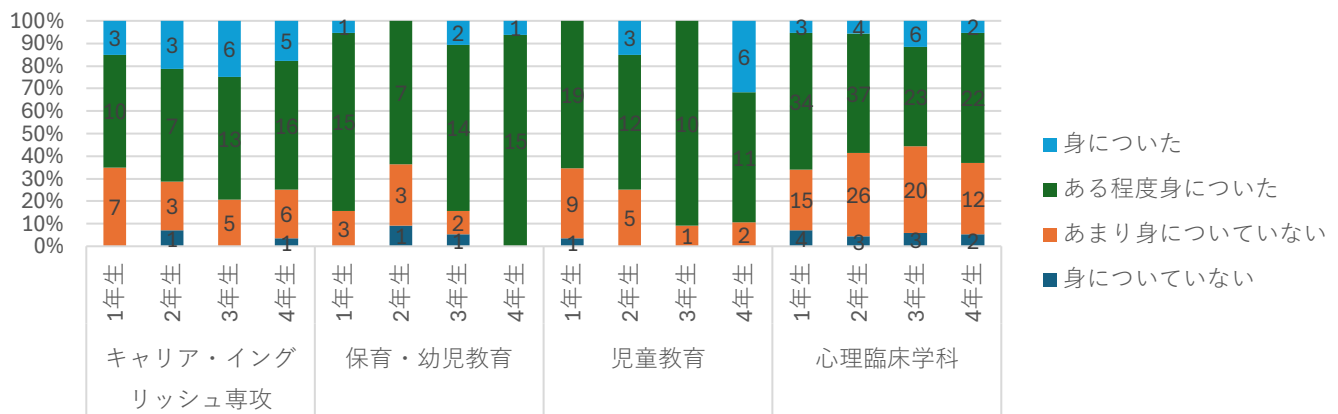
文理を超えた幅広い知識、ものの見方



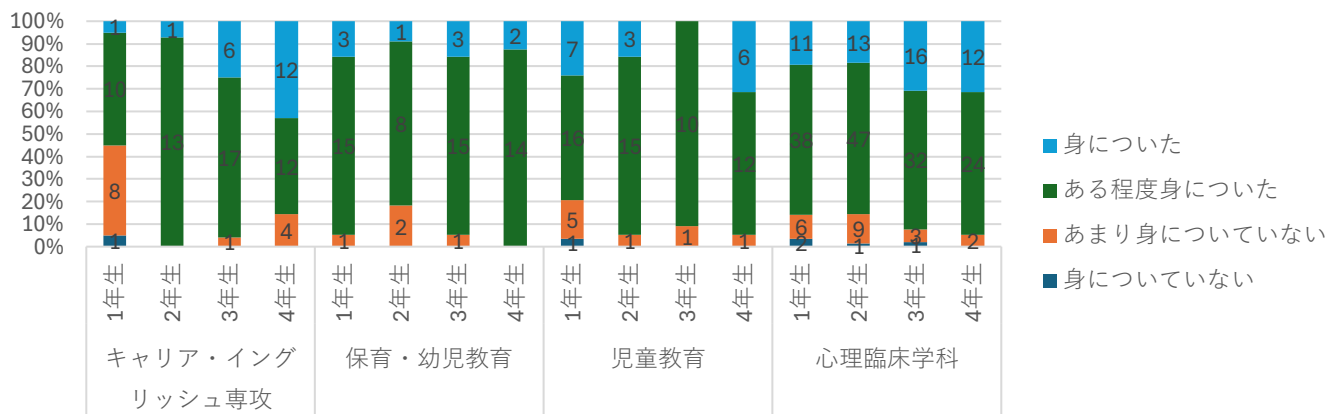
異なる文化に関する知識・理解



知識やスキルを活用して一つのものをつくり出す力



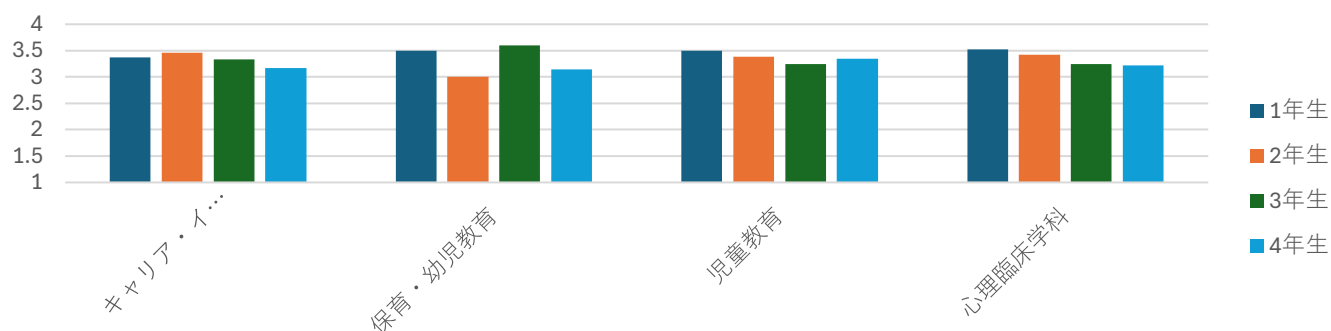
社会的責任や倫理観



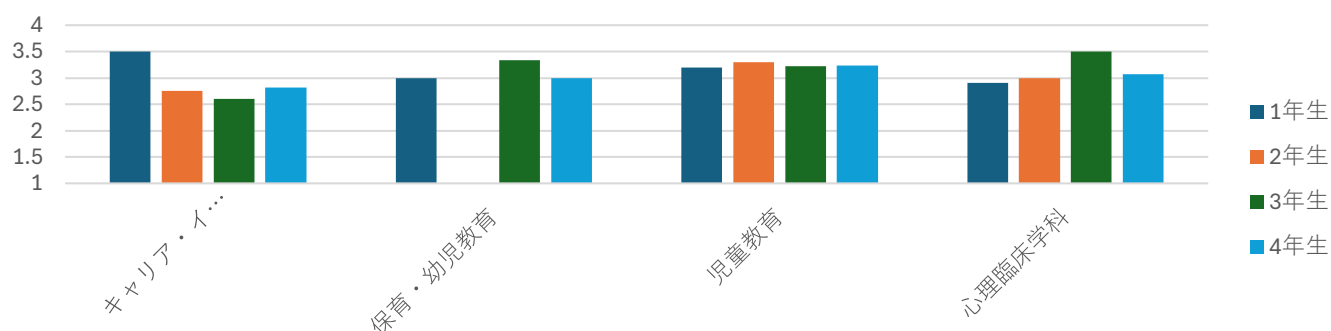
施設・サービス満足度

学内施設およびサービスに対する満足度に関して、「まったく満足していない」「あまり満足していない」「まあまあ満足している」「とても満足している」「利用していない」の5件法で質問し、「利用していない」以外の回答に関して、「1. まったく満足していない」「2. あまり満足していない」「3. まあまあ満足している」「4. とても満足している」と点数化し、その平均値を求めました。

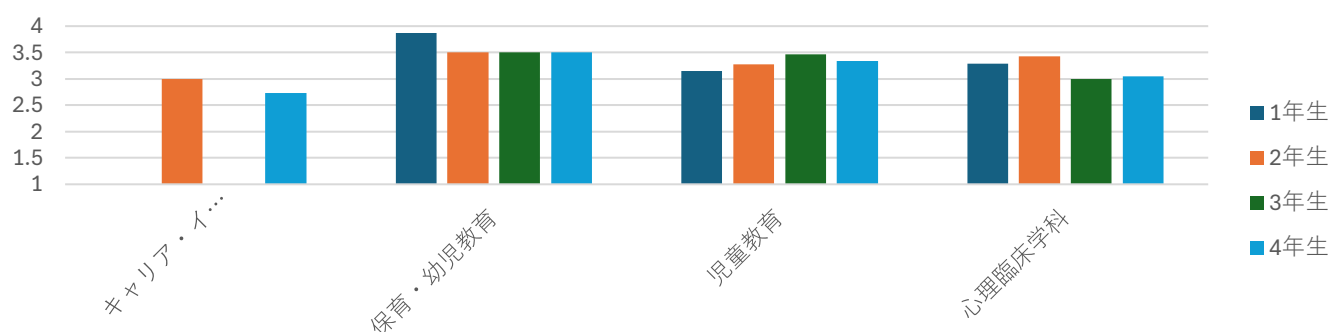
図書館の設備やサービス



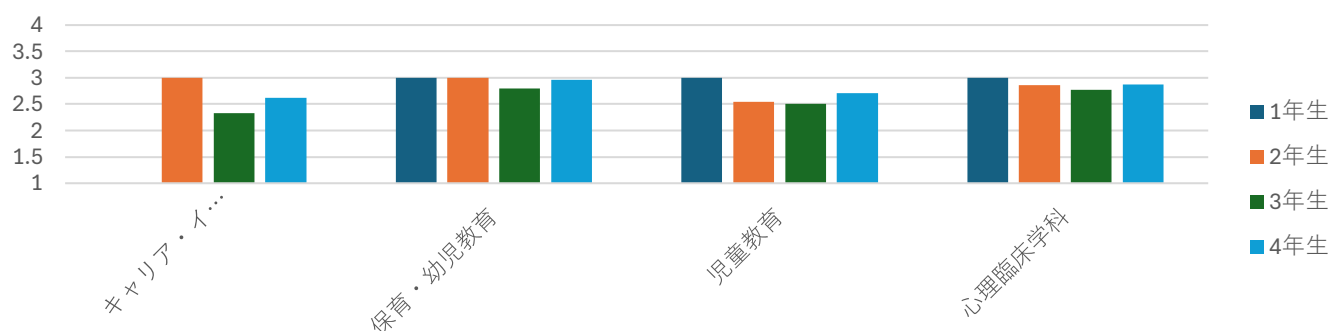
実習室・実験室の設備・器具



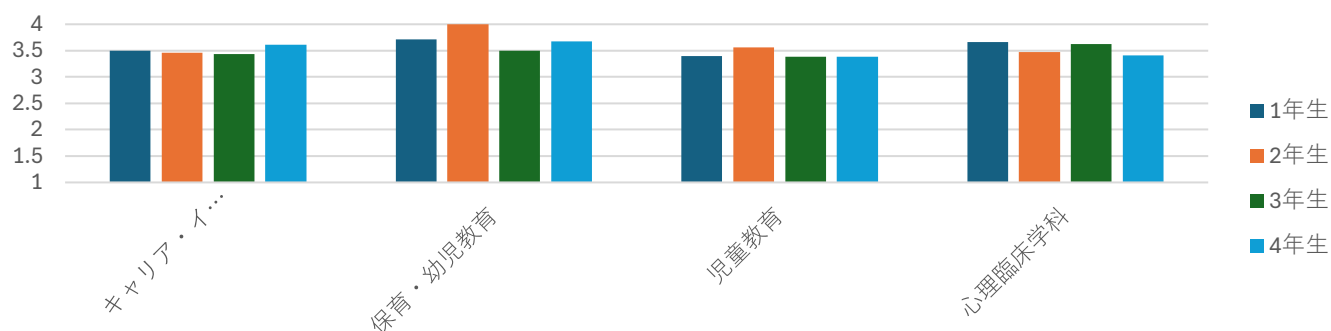
ピアノ室（台数など）



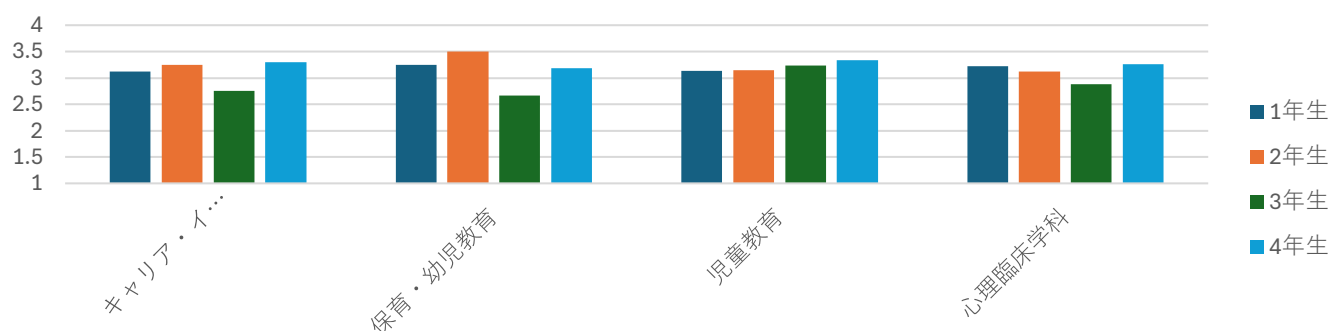
コンピュータの施設・設備（情報処理室など）



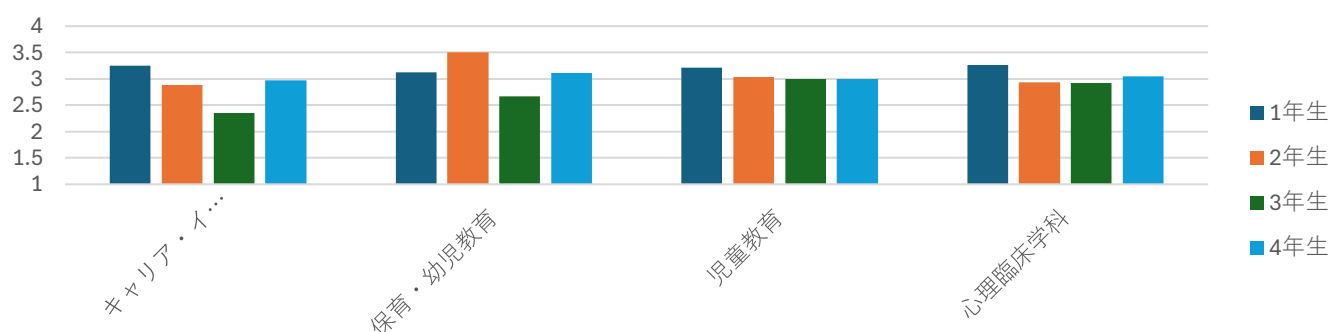
フリーWi-Fi（無線LANを利用した無料ネットサービス）



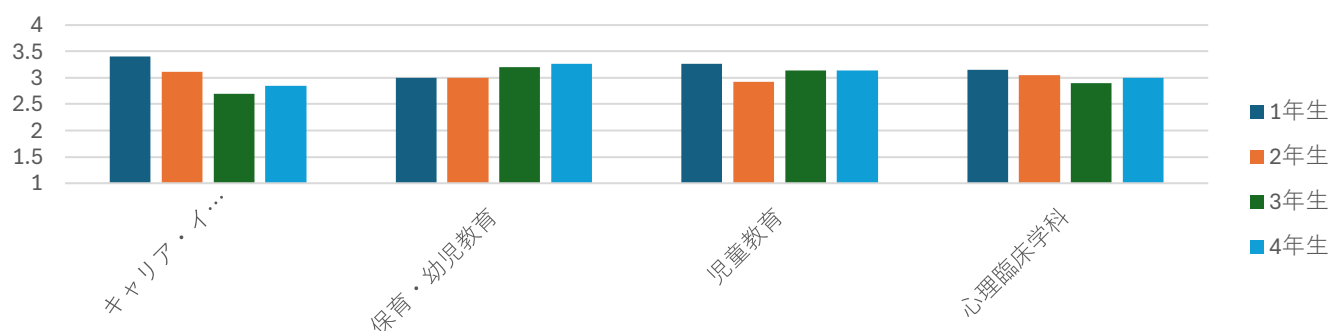
売店の設備やサービス



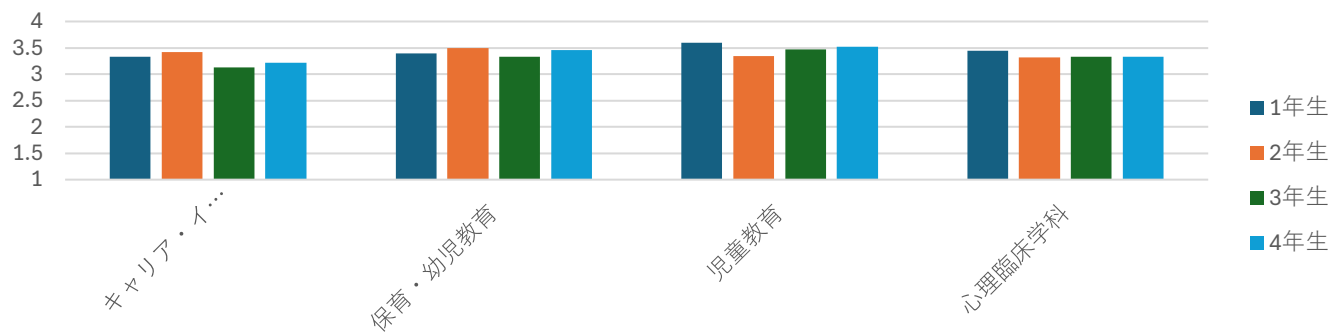
食堂の設備やサービス



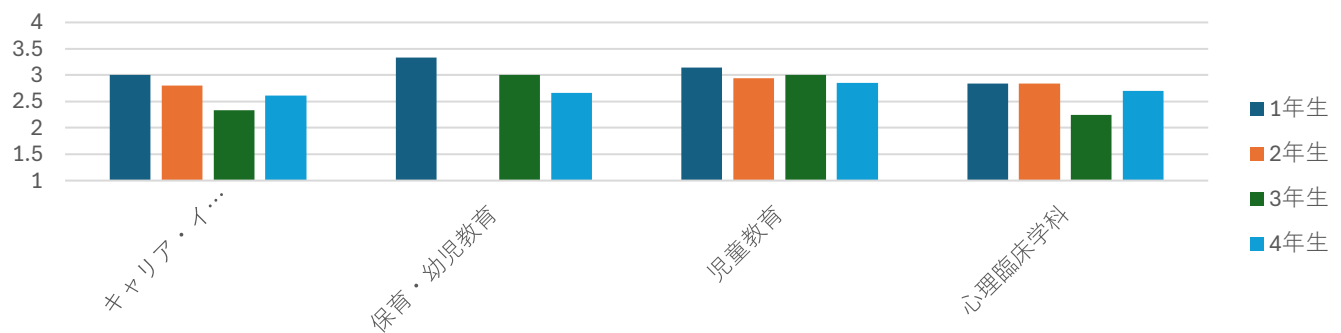
レクリエーション施設（体育館などの設備）



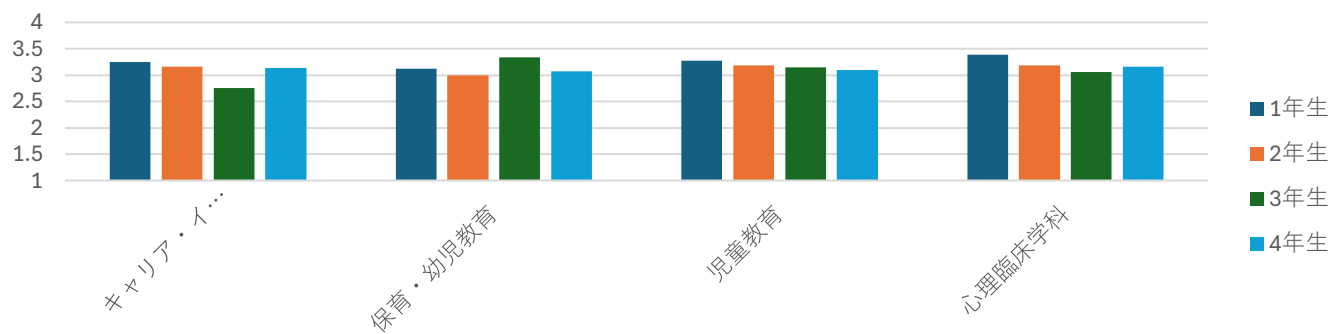
ラーニングコモンズ



部室・自治会室



授業で使用する教室全般



資格取得希望・達成状況

目指している免許・資格

学生にどのような資格を目指しているかを尋ねました。本年度より4年生の学修調査でのみの質問項目に変更されています。

